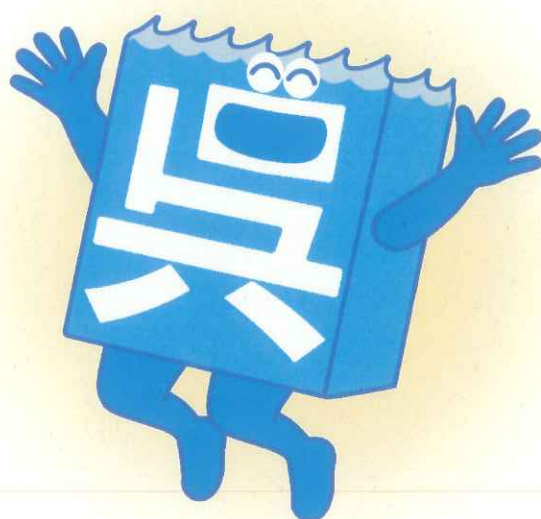


ゆ め づ く い
事 例 集



2019

編集：呉市

「ゆめづくり事例集2019」を作成しました。

それぞれのまちづくり委員会等において、特色ある資源を活かした地域の活性化や、地域の皆さんが抱える課題の解決に向けて、何をしたらいいか、また、どのように工夫すればいいかなど、地域の皆さん自身が考え、行動されている様子を紹介しています。

地域の皆さんの手で育まれ、さらに地域の絆が強まるとともに、より一層、様々な広がりを見せているこれらの事例をご覧いただき、自分たちの取組と比べてみたり、新しい取組を考える際のヒントにしたりと、大いに活用していただければと思います。

ゆめづくり事例集2019 目次





No	事業名	団体名
1	第18回 みずとひ祭り	第2地区まちづくり委員会
2	むかし遊び体験会	第2地区まちづくり委員会
3	goodbye2019 餅つき交流フェスタ	第2地区まちづくり委員会
4	ふれあい朝市	第2地区まちづくり委員会
5	第3地区冬まつり・子どもまちづくり事業	第3地区まちづくり委員会
6	盆踊り大会および物故者追悼法要	呉市第四地区まちづくり委員会および 鹿田追奉賛会, 六ヶ町自治会
7	長迫公園(旧海軍墓地)清掃活動	呉市第四地区社会福祉協議会
8	第四地区敬老会	呉市第四地区社会福祉協議会
9	第四地区防犯パトロール大会	第四地区自治会連合会
10	第四地区防犯教室	呉市第四地区まちづくり委員会
11	区域内防災訓練と防災備品整備	第5地区まちづくり委員会
12	呉市の歴史と文化を訪ねて～下蒲刈町～研修バスツアー	第5地区まちづくり委員会
13	第6地区夏まつり	第6地区まちづくり委員会
14	第6地区敬老会	呉市第6地区社会福祉協議会
15	災害時協定の締結・総合防災訓練	第6地区まちづくり委員会
16	第10回 くれ中央夏まつり(くれ絆盆踊り大会)	くれ中央地区まちづくり委員会
17	第10回 まるごと・中央地区ウォーキング大会	くれ中央地区まちづくり委員会
18	ふれあいまつり(夏まつり・盆踊り&カラオケ)	第8地区 まちづくり委員会 及び 社会福祉協議会, 自治会連合会
19	とんど祭り	第8地区 まちづくり委員会 及び 社会福祉協議会, 自治会連合会
20	ふれあい広場三条運営事業(地域活動支援事業)	ふれあい広場三条の会





No	事業名	団体名
21	地域住民・両城小学校生徒合同防災訓練	両城・三条地区自主防災会
22	八畳岩登山（登山道整備，登山）	三条地区まちづくり委員会
23	川原石地区敬老会	川原石地区社会福祉協議会および 川原石地区まちづくり委員会
24	川原石地区合同防災訓練	川原石地区自主防災連合会および 川原石地区まちづくり委員会
25	中央地域成人式	中央地域成人式実行委員会
26	第29回 詩歌創作大会	詩歌創作大会実行委員会
27	第14回 吉浦地区防災訓練	吉浦まちづくり委員会
28	第23回 警固屋さくら祭	警固屋まちづくり協議会
29	農業体験交流事業	警固屋まちづくり協議会
30	地域貢献人材発掘育成事業	警固屋まちづくり協議会
31	第42回今昔子どもふれあい大会	阿賀まちづくり推進協議会
32	令和元年度阿賀地区「成人の集い」	阿賀まちづくり推進協議会
33	阿賀まち銘板事業	阿賀まちづくり推進協議会
34	第46回広子ども祭	広まちづくり推進協議会
35	第71回広地区教育祭	広まちづくり推進協議会
36	第16回広地区クリーン活動	広まちづくり推進協議会
37	仁方地区自主防災会合同避難訓練	仁方町まちづくり推進協議会
38	仁方夏まつり	仁方町まちづくり推進協議会
39	「春が楽しみ！チューリップ」事業	仁方町まちづくり推進協議会
40	地域交流懇談会	仁方町まちづくり推進協議会





No	事業名	団体名
41	宮原ホタルの里開放事業・ホタルんクラブ活動	宮原地区まちづくり推進委員会
42	みんなで防災を考えるin宮原2019	宮原地区まちづくり推進委員会
43	宮原ホタルん大納涼会	宮原地区まちづくり推進委員会
44	鯉のぼりの吹き流し	天応まちづくり委員会
45	天応町納涼盆踊り大会	天応まちづくり委員会
46	天応地区復興イベント	天応まちづくり委員会
47	「笹酒まつり」と「もちつき大会」	天応地区社会福祉協議会
48	第14回 昭和地区ふれあいフェスティバル	昭和地区ふれあいフェスティバル実行委員会
49	きよみんのもち米づくり	NPO法人 昭和地区まちづくり協議会
50	令和元年昭和地区「成人の日」記念式典・記念行事	成人の日記念式典実行委員会
51	ふれあい・いきいきサロン	郷原町まちづくり推進委員会
52	郷原町盆踊り大会	郷原町まちづくり推進委員会
53	第2回下蒲刈地区グラウンドゴルフ大会	下蒲刈町まちづくり協議会
54	令和元年度呉市下蒲刈地区成人式	下蒲刈地区自治会連合会
55	いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAPウォーク	呉市川尻町まちづくり委員会
56	川尻町敬老会	川尻町地区社会福祉協議会
57	川尻町新成人を祝う会	川尻町地区社会福祉協議会
58	かわじり元気まつり	川尻町元気まつり実行委員会
59	2019おんどフェスティバル	音戸町まちづくり協議会
60	音戸ふれあい朝市	音戸町まちづくり協議会

No	事業名	団体名
61	くらはしお宝朝市	宝島くらはしまちづくり協議会
62	第7回島コンinくらはし（広島県最南端で見つける恋）	宝島くらはしまちづくり協議会
63	令和元年度蒲刈地区成人式	蒲刈地区自治会連合会
64	平成30年7月豪雨災害記念碑建立事業	安浦町まちづくり協議会
65	「平成30年7月 安浦町豪雨災害の記録」写真集作成事業	安浦町まちづくり協議会
66	ビューティフルアイランド祭り	豊浜町まちづくり協議会
67	伝統的料理の教室	豊浜町まちづくり協議会
68	農業・漁業体験事業	豊浜町まちづくり協議会
69	ふれあい助成事業	豊浜町まちづくり協議会
70	第36回 豊町七夕納涼祭	豊町まちづくり協議会
71	豊町町民運動会	豊町まちづくり協議会

※市内で取り組まれたまちづくり活動251件（令和年度当初247件数）のうち、代表的な事業71件を紹介しています。





番号	1	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	第18回 みずとひ祭り			事業費	約300,000円
事業の目的	第2地区まちづくり委員会では、人と人とのふれあいを大切にし、活力あるまちづくりに資することを目的として、みずとひ祭り、ふれあい朝市などを実施してきました。その中でも夏に行われる「みずとひ祭り」は、子どもから高齢者まで、地域をあげて多くの人が参加するビッグイベントとして定着し賑わっています。今後も、地域内外から多くの人が参加し、人と人とのつながりや新たな交流が広がるよう、内容を充実させることが必要だと考えています。				
事業概要	<p>日時：令和元年8月14日（水） 17時30分～21時</p> <p>場所：和庄小学校校庭及び体育館</p> <p>内容：小学生以下を対象としたジャンケン大会 お楽しみ抽選会 和庄中学校吹奏楽部の演奏 盆踊り、神楽の鑑賞 地域の人たちによる模擬店 （焼き鳥、焼きそば、かき氷、フランクフルト他）</p> <p>来場者：約1,100名</p> <p>※参加促進のため、65歳以上の高齢者には1世帯300円の【元気券】を、また、小学生には1人300円の【子ども券】を配付しました。</p>				
企画・実施した人	第2地区まちづくり計画の大きな柱の一つである「わいわい地域交流」活動の一環として、女性会や民生委員児童委員等と話し合いながら企画立案しました。地域ボランティアの多数の参加もあり、地域全体が盛り上がるイベントになりました。また、オープニングでは、昨年「子どもまちづくり事業」で作成した御神輿を子ども達が担ぎ、会場を盛り上げました。				
苦労した点	地域の担い手の高齢化に伴い準備が大変でしたが、和庄中学校の生徒約70名と親父の会の方々がボランティアとして手伝ってくれたおかげで助かりました。				
活動状況	 <p>子ども水みこしによるオープニング</p>		 <p>屋台の様子</p>		
	 <p>会場の様子</p>		 <p>和庄中学校による吹奏楽の演奏</p>		
活動の成果	イベントを通して、地域の絆を深めることができました。				


番号	2	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	むかし遊び体験会			事業費	—
事業の目的	<p>子どもにとって安全・安心なまちづくりを実現するためには、地域の絆を深めるとともに、地域ぐるみで児童の健全育成活動を推進する必要があります。その活動の一環として、和庄小学校の1年生が地域の人に昔の遊びを教えてもらい体験することで、地域との交流を持ち、地域の人と顔なじみになり、日頃の挨拶も活発に行われるなど、子どもを取り巻く環境や安全に対する住民の意識も高まるものと考えられます。子ども達が地域の人々と豊かな関係性を持って成長することを目指します。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和元年11月29日（金） 10時～12時 場 所：和庄小学校体育館・校庭 内 容：①射的、②紙飛行機、③けん玉、④お手玉、⑤竹とんぼ、⑥コマ回し、⑦かんぼっくりの7種類の昔遊びを体験しました。 参加者：約400名（子どもが約200名参加）</p>				
企画・実施した人	<p>平成25年度から3年間、和庄小学校区の第2地区及び第3地区まちづくり委員会が連携事業として、市民ゆめ創造事業交付金（地域間連携推進事業）を財源に実施しました。平成28年度からは第2地区まちづくり委員会単独で、年末の「餅つき交流フェスタ」の一環として実施していましたが、令和元年度は単独イベントとして実施しました。</p>				
苦労した点	<p>特にありません。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>けん玉体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>竹とんぼ体験</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>かんぼっくり体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>お手玉体験</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>イベントを通して、地域の絆を深めることができました。</p>				


番号	3	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	goodbye2019 餅つき交流フェスタ			事業費	約150,000円
事業の目的	<p>近年、子どもを取り巻く地域・社会環境は、事件・事故等多くの課題を抱えています。子どもにとって安全・安心なまちづくりを実現するためには、地域の絆を深めるとともに、地域ぐるみで児童の健全育成活動を推進する必要があります。その活動の一環として、和庄小学校を通学区域とする子ども達が地域の人と一緒に正月の伝統的な「昔遊び・餅つき」を体験し、地域の異世代の人々と交流を持つことにより、地域の人と顔なじみになり、日頃の挨拶も活発に行われるなど、子どもを取り巻く環境や安全に対する住民の意識も高まるものと考えられます。祖父母→お父さん・お母さん→お孫さんと次世代への伝統文化の継承及び地域・世代間の交流を通して、高齢者が生き甲斐を持ち地域社会に貢献するとともに、子ども達も地域文化に目覚め、地域の人々と豊かな関係性を持って成長することを目指します。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和元年12月28日（土） 9時～12時30分 場 所：和庄小学校校庭 内 容：杵での餅つきや足踏み式餅つきを体験 つきたての餅をぜんざいにしたり、きな粉やしょうゆをつけてみんなでご馳走になります。 その他、お雑煮や焼きいもをご馳走になりながら、今年一年を振り返りました。 参加者：約400名（子どもが約200名参加）</p>				
企画・実施した人	<p>平成25年度から3年間、和庄小学校区の第2地区及び第3地区まちづくり委員会が連携事業として、市民ゆめ創造事業交付金（地域間連携推進事業）を財源に実施しましたが、平成28年度より、第2地区まちづくり委員会単独で実施しています。年末の餅つき大会を楽しみにしている方も多く、地域間、世代間交流を育む良い機会となっています。</p>				
苦労した点	<p>各地で餅つき大会を中止する所が出て開催を危ぶむ声もありますが、地域のふれあいや一体感を醸成するには餅つき大会を開催するべきだとの意見が多かったため、衛生面に十分気をつけ実施しました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>子どもの餅つき体験</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>つきたてのお餅を一口大に切り分ける様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>醤油餅・きなこ餅の配膳</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>雑煮の配膳</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>イベントを通して、地域の絆を深めることができました。</p>				

番号	4	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	ふれあい朝市			事業費	245,000円
事業の目的	<p>市町村合併を契機に地域内、地域間交流を目的に始めたふれあい朝市も今回で13回目を迎えました。現在では、多くの来場者で賑わうなど、夏はみずとひ祭り、冬はふれあい朝市と呼ばれるほど、地区内を代表するイベントとして定着し、地域の活性化に貢献しています。ふれあい朝市では、至る所であいさつや世間話を楽しむ光景が見られます。中には、朝市のおかげで、しばらく会っていなかった人に再会し話しができた方もおられます。今では、地区外から参加される方も多く、新たな交流が生まれています。</p>				
事業概要	<p>日時：平成31年3月10日（日） 8時～12時 場所：元町公園（旧本通第3公園） 内容：杵つき餅実演販売 地域ボランティアがつくった物品の販売 （かき飯、とり飯、たらい寿し、たこ焼き、コロッケ、うどん、清水谷名水コーヒー等） 子どもゲームコーナー設置 健康増進課による健康づくりコーナーの設置 （血圧測定、健康相談及び減塩豚汁の炊き出し） 来場者：約1,100名 ※参加促進のため、65歳以上の高齢者には1世帯300円の【元気券】を、また、小学生には1人300円の【子ども券】を配付しました。</p>				
企画・実施した人	<p>第2地区まちづくり計画の大きな柱の一つである「わいわい地域交流」活動の一環として、女性会、民生委員児童委員、地域ボランティア等と話し合いながら企画立案しました。夏に開催する「みずとひ祭り」と同じように、地域全体が盛り上がるイベントになりました。</p>				
苦勞した点	<p>特にありません。</p>				
活動状況	<p>ふれあい朝市の様子</p> 				
活動の成果	<p>イベントを通して、地域の絆を深めることができました。</p>				










番号	5	団体名	第3地区まちづくり委員会	代表者	齊藤 晴彦
事業名	第3地区冬まつり・子どもまちづくり事業			事業費	400,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の交流を促進し、絆を強める。（世代間交流も含む） ・「とんど」という地域伝統文化の継承 ・子どもの健全育成 ・合同防災訓練や交通安全教室を兼ねた複合イベント「冬まつり」を実施することで、参加者の増加、安全安心なまちづくりの推進と、公的機関との協働により地域力の向上を図る。 ・本通小学校6年生を中心に4年生と合同で実施する子どもまちづくり事業による大きな関わりから、地域への愛着をもたせることができる。 				
事業概要	<p>日時：令和2年2月2日（日） 9時～12時 場所：本通小学校グラウンド 内容：平成22年度（30年ぶり）から復活した「とんど焼き」を中心に、地域の子どもと大人が交流する事業で、今年が10回目にあたります。 従前の「とんど焼き」の他、恒例となった6年生が地域の大人と作った「ミニとんど焼き」が加わり、さらに、合同防災訓練（煙中避難、負傷者搬送、AED操作、消火器操作）、交通・防犯教室、餅つき大会、大人と子どものゲーム遊び、子どもものづくり教室、本通小学校PTAのバザー（古本、古着、雑貨等販売）、6年生が防災意識を高めるためマジックライスを配布し、4年生の防災グッズの作成、とん汁、ぜんざい、たこ焼き、お餅の無料配布など、盛りだくさんの内容で、たくさんの方が参加し、大盛況でした。 昔の遊びを体験できるものづくり教室やパン食い競争、的当て、竹馬などのゲーム、もち焼き、スタンプラリーなどで子ども達が楽しむ姿が印象的でした。 参加者：700名</p>				
企画・実施した人	企画：第3地区まちづくり委員会 地域文化の伝承部会 実施：第3地区自治会連合会・本通小学校・PTA・ソフトボール同好会 地区子ども会・和庄中学校有志・呉警察署・呉市消防局西消防署 呉市消防団呉東地区隊本通分団・第3地区内の商業振興部会 地域内外の有志・呉市職員				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・天候（天気予報などの寒波事前情報により、準備日も含め早めに実施判断をした。） ・とんど（ミニとんどを含む）の材料集め及び設計・製作 ・小学校、警察、消防、消防団及び各種地域団体、保健所との調整 ・地域の伝統行事を手伝ってくれるまちづくり協議会の後継者不足 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>小6によるミニとんどの組み立て</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>燃え上がる大小のとんどを見守る人々</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>合同防災訓練（負傷者搬送訓練）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>交通・防犯教室</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>当該事業は10回目となり地域住民にとって恒例行事となっている。また、本通小学校の授業として位置づけられたことで、当該地区のまちづくり計画に掲載している、子どもから大人までの世代間交流が促進され、住民同士の絆を強めることができた。</p>				

番号	6	団体名	呉市第四地区まちづくり委員会および 鹿田迫奉賛会、六ヶ町自治会	代表者	谷本 誠一
事業名	盆踊り大会および物故者追悼法要			事業費	108,928円
事業の目的	<p>地域の絆を深めるため、毎年、長迫小学校校庭で、地元の奉賛会と6つの自治会および第四地区まちづくり委員会が合同で盆踊り大会を開催しています。</p> <p>この盆踊りに出店する焼きそば、かき氷、フランクフルトやゲームコーナーで使用できる買い物券をまちづくり委員会が発行・配布することにより、多くの参加者が集まり、地域全体のイベントとして盛大に開催されています。また、そのことで、顔と顔の見える地域社会の実現に繋がっています。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和元年8月3日（土） 18時30分～21時 ※盆踊り開始前に物故者追悼法要</p> <p>場 所：長迫小学校グラウンド</p> <p>内 容：・夜店・ゲームコーナー 焼きそば、フランクフルト、ジュース、かき氷、スーパーボールすくいなど</p> <p>・盆踊り大会 長迫小学校グラウンドにやぐらを組み、子どもの太鼓や文連の三曲会による炭坑節や呉音頭の生演奏・生唄にあわせて盆踊りを行いました。</p> <p>・抽選会 盆踊りの後、多くの景品を提供するお楽しみの抽選会を行いました。</p> <p>参加者：約500名</p>				
企画・実施した人	鹿田迫奉賛会、六ヶ町自治会および呉市第四地区まちづくり委員会 ※協力：三曲会（文連）				
苦勞した点	<p>範囲の広い第4地区をまとめ、地域文化の伝承と季節の風物詩である盆踊りを盛り上げるため、第四地区まちづくり委員会としてどのような方法が最も効果的かを検討した結果、買い物券の配布を続けることで、多くの人が参加するようになり一定の効果を果たしています。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>恒例となった三曲会による生演奏</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>定番の呉音頭で盛り上がる</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>女性による飲料提供</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>若者が夜店で活躍</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>地区の高齢世代と実質的に世話をする若者世代とが一体となって行事を盛り上げることができ、世代間交流が図れました。</p>				




番号	7	団体名	呉市第四地区社会福祉協議会	代表者	谷本 誠一
事業名	長迫公園（旧海軍墓地）清掃活動			事業費	67,773円
事業の目的	<p>長迫公園（旧海軍墓地）をお盆前に地区内の住民が清掃し、清掃後は、参加者全員で慰霊祭壇に黙とうを捧げています。</p> <p>戦後、荒れ果てていた旧海軍墓地を近隣住民が自主的にきれいにしていた清掃活動は、これまで68年もの間、継続しています。</p> <p>第4地区は範囲が広いですが、長迫公園から遠方の住民も参加しています。また、子ども会もラジオ体操の後に、この清掃活動に参加しており、地域の大切な行事として次世代にも引き継がれています。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和元年8月12日（月・振替休日） 6時50分～8時 清掃活動、その後、供養式</p> <p>場 所：長迫公園（旧海軍墓地）園内道路・石畳や水路を含む周辺一帯</p> <p>参加者：112名</p> <p>内 容：・清掃活動 公園内の植栽、園路・石畳、溝、水路、石垣法面など全体を清掃した。各自治会へ熊手や竹箒を提供し、参加者全員に熱中症対策を兼ねお茶、煎餅を配布した。</p> <p>・供養式（黙とうおよび合掌） 清掃後、慰霊祭壇に参加者全員で黙とうを捧げ、一人一人が手を合わせた。</p>				
企画・実施した人	呉市第四地区社会福祉協議会とその傘下である自治連、女性会、民児協が中心となって実施しました。				
苦労した点	高齢者や子どもが多く参加したため、安全対策に苦労しました。（熱中症、けが、まむしなど）				
活動状況	 <p style="text-align: center;">清掃活動</p> <p style="text-align: center;">黙とうの後、祭壇に手を合わせました</p>				
活動の成果	旧海軍墓地を管理する公益財団法人 呉海軍墓地顕彰保存会からも喜ばれました。				

番号	8	団体名	呉市第四地区社会福祉協議会	代表者	谷本 誠一
事業名	第四地区敬老会			事業費	1,333,237円
事業の目的	第4地区では目標の一つである「地域でふれあい楽しいまちづくり」のため、地区社協所属の各団体をはじめ、地元のグループ、保育園、警察署などが協力し、高齢者に少しでも喜んでいただける敬老会が開催できるよう努めています。				
事業概要	<p>日 時：令和元年9月16日（月・祝） 9時～11時57分 ※8時30分～受付</p> <p>場 所：本通小学校体育館</p> <p>参加者：約400名（うち被招待者：約300名）</p> <p>内 容：・式典 ①開会のことば ②国歌斉唱 ③物故者黙祷</p> <p>④主催者代表あいさつ ⑤記念品贈呈</p> <p>⑥来賓祝辞および来賓紹介 ⑦祝電披露 ⑧被招待者謝辞</p> <p>⑨長寿万歳 ⑩閉会のことば</p> <p>・アトラクション（演芸）</p> <p>①平原保育園「たる太鼓と歌」 ②東畑自治会「バンド演奏」</p> <p>③東雲自治会「サクソ演奏」 ④西畑町自治会「歌とピアノ」</p> <p>⑤長迫町自治会「日本舞踊」 ⑥本通6丁目東自治会「歌」</p> <p>⑦溝路町自治会「フォークダンス」</p> <p>⑧本通7丁目自治会「オカリナ演奏」</p> <p>⑨曙自治会「箏・尺八・ギター」⑩本通ハンドベル同好会</p>				
企画・実施した人	地区社会福祉協議会を中心とした地元各団体が協力して実施 ※自治連、女性会、民児協、保護司会などが主体となって、地元の保育園なども全面協力				
苦労した点	単独地区社協の開催のため派手な行事はできないが、各グループ、地元保育園などが協力し、手作りで地元開催ならではの敬老会を行うことができました。 祝う者（主催者や発表者）と祝われる者（招待されたお年寄り）、どちらも笑顔で楽しそうにあいさつを交わし、地域の目標の一つである「世代間交流」が十分できました。				
活動状況	 <p>平原保育園「たる太鼓と歌」</p>  <p>サウンドメイツ「バンド演奏」（東畑）</p>  <p>本通フォークダンスクラブ（溝路町）</p>  <p>本通ハンドベル同好会（本通女性会）</p>				
活動の成果	地元グループや保育園などがアトラクション発表などで協力したことにより、アットホームな敬老会になり、世代間交流と本当の意味での楽しいまちづくりに役立ちました。				







番号	9	団体名	第四地区自治会連合会	代表者	谷本 誠一
事業名	第四地区防犯パトロール大会			事業費	167,487円
事業の目的	地域住民の犯罪予防に対する意識を喚起し、住民と関係機関が連携して犯罪のない地域社会を構築することを目的とし、毎年10月に、第4地区では防犯パトロール大会を自治会連合会の主催で実施しています。				
事業概要	<p>日時：令和元年10月27日（日） 9時～11時40分 ※9時～防犯パトロール、10時～式典</p> <p>場所：・パトロール：各地（4班）→本通6丁目交番（途中集合）→長迫小学校 ・式典・アトラクション：長迫小体育館 豚汁等の振る舞い：長迫小東棟（図工室等）</p> <p>内容：・パトロール（パレード） 第4地区内各地（東西南北4班）から、幟旗を持ち「安全・安心のまちづくり」や「交通安全」などを呼び掛けながらパレードを行った。 途中、9時半を目安に6丁目交番で集合、その後分かれて各地域をまわった。</p> <p>・式典 ①会長あいさつ ②東畑中学校吹奏楽部の演奏 ③来賓祝辞・紹介 ④警察署訓話 ⑤平原保育園児によるたる太鼓演奏 ⑥大会宣言（平原保育園児による「ガンパロウ」の三唱）</p> <p>・豚汁等の振る舞い（女性会） 参加者：約240名</p>				
企画・実施した人	第四地区自治会連合会及び第四地区まちづくり委員会が協力して開催し、地元女性会や民児協などとも連携を図っています。				
苦労した点	昨年度から式典会場を体育館に移したことで、雨天対策には余裕ができました。しかし、来賓挨拶と警察署の訓話等で会場内の板べたに長時間座することが高齢者に堪えたようです。但し、豚汁に合わせておにぎりを昨年度から準備し、食事会場も割り振ったことが好評を博しました。				
活動状況	  <p>パレードの様子</p>      <p>呉警察署による訓話 東畑中学校吹奏楽部による演奏 平原保育園児によるたる太鼓</p>				
活動の成果	本大会では初となる警察署からの訓話を受け、防犯意識向上を一層図ることができました。来年度からも訓話はプログラムに入れていくべきとの声が出ていました。				

番号	10	団体名	第四地区まちづくり委員会	代表者	谷本 誠一
事業名	第四地区防災教室			事業費	166,300円
事業の目的	地域住民に対する防災意識を喚起し、住民、長迫小学校及び関係機関が連携して、災害による人的被害を最小限にする地域社会を構築することを目的として実施しています。				
事業概要	<p>日時：令和2年2月17日（月）午前8時30分～午前11時10分 場所：長迫小学校 屋体、コンピュータ室、生活科室、校庭、家庭科室、図工室 内容：(1) 会長あいさつ (2) 学校長あいさつ (3) 防災講和（呉市危機管理課） (4) 4班に分かれ①救急訓練（心肺蘇生法） ②搬送訓練 ③ロープ結索 ④豪雨・暴風疑似体験（ヘラセオン）を実施 (5) 避難訓練（グラウンドへ避難） (6) 消火訓練（消火器の取り扱い・天ぷら油火災） (7) 災害食試食 (8) 4年生による煙中体験・5・6年生による豪雨・暴風疑似体験 参加人数：地区関係者160名、学校関係者160名、消防署等20名</p>				
企画・実施した人	第四地区自治会連合会、地元女性会や民児協などとも連携を図っています。				
苦労した点	高齢者の参加が殆どで、且つ訓練内容が多いため、時間を長引かせないように、進行に留意した。校庭での消火訓練は粉雪が舞い散る寒さだったので、皆堪えたと思う。試食会になると、自宅へ持ち帰って試食した方が大半だった。				
活動状況					
	屋体へ集合		主催者あいさつ		危機管理課による講話
					
	救急訓練（心肺蘇生法）		搬送訓練（搬送法）		ロープ結索
					
	豪雨・暴風疑似体験（ヘラセオン）		消火訓練		天ぷら油火災訓練
活動の成果	一昨年の豪雨災害もあり、毎年継続的に実施することで、だんだん防災意識が身について来たと思う。昨年に引き続き防災リーダーを全体の場で紹介することで、自覚と責任感を植え付け、住民との連携が図れた。児童も昨年度までの防災講話受講に止まらず、各学年で訓練を実施し、訓練現場を5年生の一部が取材を行い、よき防災教育になった。				





番号	11	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	区域内防災訓練と防災備品整備			事業費	約1,200,000円 (訓練, 備品合計)
事業の目的	<p>第5地区は、市内中心部から灰ヶ峰中腹にわたり南北に細長く広がる地域で、急峻な地形が複数の河川や谷などを形成しており、また急勾配で狭い道路も多く、災害時の避難や物資の搬送などに不安を抱えています。</p> <p>このような中、住民アンケートで最も関心の高かった「防災」に対する意識を高めるとともに、実際の災害時における行動を想定した「体感」シミュレーションを行うため、地域内を学校区ごとの2ブロックに分けて総合防災訓練を行いました。</p>				
事業概要	地区	荘山田小学校区		明立小学校区	
	日時	令和元年7月19日(金)		令和元年12月18日(水)	
	場所	荘山田小学校		明立小学校	
	参加者	386名 幼小中学生, 地域住民		471名 幼小中学生, 地域住民	
	内容	①②③④⑤⑥⑦⑧		①②③⑤⑥⑦⑧⑨	
	<p>①消火訓練 ②搬送訓練 ③救命(AED)訓練 ④ヘラセオン(豪雨・暴風疑似体験) ⑤ロープ結索方法 ⑥煙中体験 ⑦講話 ⑧車椅子体験 ⑨防災学習発表</p> <p>・防災用品収納倉庫: H23: 4か所新設, 1か所改修(旧辰川小体育館下倉庫) H24: 5か所新設 H25: 2か所新設・1か所共用(4自治会は自治会で倉庫を設置済み), 炊き出し用釜2セット購入 H26: 炊き出し用釜2セット, 大型扇風機10台, 発電機2台, 会議机29台購入 H27: 大型ストーブ4台購入 H28: テント29台購入 H29: リヤカー7台, 担架10台, 車いす4台, 大型扇風機4台購入 R 元: 避難所用簡易テント4台, 非常食1,000食備蓄 →拠点避難所(明立小学校, 荘山田小学校, 惣付ふれあい集会所), 準拠点避難所(惣付ふれあい集会所), その他(辰川会館, 第5地区集会所)に配備</p>				
企画・実施した人	まちづくり委員会内の「安心して住めるまちづくり部会」(メンバー13名)が企画し、各学校区ごとに、所属する自治会長が中心となって、会場準備や消防との調整、物品の準備、当日の運営などを行いました。				
苦労した点	子どもからお年寄りまで、地域に住む皆さんが参加できるよう、学校や幼稚園などと協力して実施できるよう調整しました。また、体験的プログラムを取り入れ、参加者に少しでも興味を持ってもらえるよう工夫しました。				
活動状況					
	講話の様子		給水訓練		
					
	明立小4年生による防災学習発表		救急処置訓練		
活動の成果	子ども達も地区の大人と一緒に開催することにより、防災意識の高揚につながっています。また、学校区ごとに訓練を行うことにより、非常時における対応の習得となっています。				





番号	12	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	呉市の歴史と文化を訪ねて～下蒲刈町～研修バスツアー			事業費	約200,000円
事業の目的	<p>第5地区内には2つ小学校があり、4つの学区にまたがっています。まちづくり委員会では、未来を担う子どもたちが、同じ地域で学校区の枠を超えて交流し、健やかに育つよう、交流の場や学びの場を作ることが大切であると考えました。そのため、地区内に住む幼児、小学生とその保護者、地域の皆さんを対象に、呉の歴史や地域ごとの特色を学び体験するバスツアーを計画、実施しています。</p> <p>令和元年度の目的地は下蒲刈町。観光ボランティアの皆さんにガイドしていただき、歴史的景観や自然が豊かな下蒲刈町を堪能しました。また、下蒲刈町特産の姫ひじき塩づくりも体験しました。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和元年9月14日（土） 9時30分出発，16時解散 参加者：68名（幼児・小学生35名，保護者・関係者33名） 目的地：下蒲刈町 訪問先：昆虫の家 頑愚庵 松寿園 蘭島閣美術館 貝と海藻の家 姫ひじき塩づくり体験</p>				
企画・実施した人	まちづくり委員会内の「未来へつなぐまちづくり部会」（メンバー13名）が企画し、見学先の選定や事前打ち合わせ、観光ボランティアとの調整、当日の運営などを行いました。				
苦労した点	当初は、開催日を夏休み期間の8月下旬を予定していましたが、施設の休館日などと重なったため9月に開催しました。そのため、例年に比べ子ども達の参加者が半数となってしまいました。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>昆虫の標本作りに興味津々</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>次の施設へみんなでゴー！</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>すばらしい景色に感激</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>みんなで記念撮影</p> </div> </div>				
活動の成果	子ども達にとっては、下蒲刈町の歴史や特色を学び、姫ひじき塩づくりを体験することにより、呉市の様々な地域に興味を持ったようです。				

番号	13	団体名	第6地区まちづくり委員会	代表者	藤本 勝彦
事業名	第6地区夏まつり			事業費	約460,000円
事業の目的	<p>「第6地区夏まつり」は、地区内の自治会や社会福祉法人など、地域が一体となって開催する第6地区の夏の一大イベントとなっています。地元地縁団体だけでなく、様々な団体や各世代がひとつになって、このような行事を行うことにより、地元の一体感や世代間交流が促進されています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和元年8月17日（土） 17時～20時 ・場所 片山中学校グラウンド ・内容 <ul style="list-style-type: none"> 屋台（テント）：いなり寿司、唐揚げ、パン、ポップコーン、綿菓子、かき氷、タピオカ、フランクフルト、うどん、たこ焼き、鯛めし など お遊びコーナー：輪投げ、風船ヨーヨー、スーパーボール など ステージ：サウンドメイツ、カブト虫バンド、YAMATOくれびとよさこい踊り、盆踊り、ナンバー抽選くじ メモリアルコーナー：ダーツ、金魚すくい 花火：子ども用花火、打ち上げ花火、ナイアガラの滝 ・参加人数 1,551人（対前年比7%増） 				
企画・実施した人	<p>第6地区まちづくり委員会を中心とした地元の各団体やボランティアで実行委員会をつくり実施しています。（片山中学校、社会福祉法人かしの木、地元のスーパーマーケット藤三片山店などが全面協力）</p>				
苦労した点	<p>会場となる片山中学校、その他の団体やボランティア（会場づくりや片付け、司会、各コーナーの運営など）を含む実行委員会メンバーの協力がなければ実施できない行事です。多くの団体との調整は毎回苦労しています。</p>				
活動状況	 <p>バンド演奏</p> <p>YAMATOくれびとよさこい踊り</p> <p>釣れるかな…？！</p> <p>エンディングの花火はナイアガラ</p>				
活動の成果	<p>12回目となる今年は、他地区（音戸町早瀬女性会）からの参加や、呉氏の登場もあり、より賑やかな夏まつりとなりました。参加人数も昨年より増加しており、地域の方々に夏のイベントとして定着するとともに、団体と地域との連携や、世代間交流、地域の団結にもつながっています。</p>				






番号	14	団体名	呉市第6地区社会福祉協議会	代表者	藤本 勝彦
事業名	第6地区敬老会			事業費	439,394円
事業の目的	<p>第6地区では、第6地区未来基本計画にある「各種イベントの開催」で「高齢者を支えます」を目標に、各種団体の協働の幅を少しずつ増やしながら、敬老者に喜んでいただける敬老会が開催できるよう努めています。</p> <p>地元の団体や幼稚園、小中学校、社会福祉法人などが協力して手作りの敬老会を開催することにより、お年寄りが喜んでくださるアットホームな行事となり、地域の団結力向上にもつながっています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和元年9月16日(月・祝) 10時～12時 ・場所 片山中学校体育館 ・敬老対象者数 595人 ・来場者数 355人 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> 式典 ①開会のあいさつ ②国歌・呉市歌斉唱 ③物故者への黙祷 ④会長あいさつ ⑤来賓祝辞・紹介 ⑥祝電披露 演芸(アトラクション) <ul style="list-style-type: none"> ①至心幼稚園「遊戯と歌」 ②荘山田小学校「語りとダンス」 ③かしの木「コーラスと手話」 ④きたさこ「華」ーず「混声コーラス」 ⑤片山中学校「合唱と吹奏楽」 閉会のあいさつ 				
企画・実施した人	呉市第6地区社会福祉協議会と第6地区まちづくり委員会を中心とした地元の各団体が協力して実施しています。(地区内の幼稚園や小中学校、社会福祉法人かしの木などが全面協力)				
苦労した点	舞台転換などに時間がかかりましたが、皆で協力して行いました。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>至心幼稚園 「遊戯と歌」</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>荘山田小学校 「語りとダンス」</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>かしの木 「コーラスと手話」</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>混声コーラス きたさこ「華」ーず</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>片山中学校 「合唱と吹奏楽」</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>片山中学校 「合唱と吹奏楽」</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>地区内の敬老者をみんなでお祝いしようと、各団体やグループ、幼稚園、小中学校、社会福祉法人などが協力して行ったことで、世代間交流にもなり、地元の団結力で敬老行事ができました。</p> <p>また、新設された片山中学校体育館を会場とすることで、敬老者にも避難場所の確認をしてもらえたと思っています。</p>				

番号	15	団体名	第6地区まちづくり委員会	代表者	藤本 勝彦
事業名	災害時協定の締結・総合防災訓練			事業費	292,650円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における自助・共助の地域力を強化するとともに、中学生に主体性をもって防災訓練に取り組んでもらうことで、地域の将来を担う人材を育成する。 ・地区住民に避難場所の確認と意識付けを行うとともに、避難時の問題点を洗い出すことにより、有事の際に多くの命が助かるようにするため、住民の危機管理意識を育てる。 ・まちづくりの柱の一つに位置づけ、住民だけでなく地域内の福祉施設や店舗などを含む地域組織として、危機意識を持って取り組むことで、地域の一体感（絆）が生まれる事業にする。 				
事業概要	<p>【災害時協定】 平成24年に地元の藤三片山店と災害時の避難所としての敷地の一部使用や、食糧等の優先的な購入等についての防災協定を締結しており、さらに平成29年には、社会福祉法人かしの木とも災害時における施設の一部使用協定を締結しています。</p> <p>【総合防災訓練】 日時・場所：令和元年11月29日（金） 9時50分～13時 片山中学校 内容：9時53分安芸灘を震源とするマグニチュード7.5震度6の地震があったことを想定し、地域内の幼・小・中・福祉施設・住民全てを対象に避難訓練を実施。地域の避難場所として片山中学校のグラウンドに避難し、安否確認を行いました。その後、グラウンドで初期消火・衛星電話での通話・給水の3訓練、校舎内で煙中・避難所設営・HUG避難所運営・ヘラセオンの4訓練を行いました。小学校高学年と中学生が低学年及び幼稚園児とペア（チーム）を組んで訓練に参加することで、地域内の子ども同士の連帯感も生まれました。 参加者：820人</p>				
企画・実施した人	<p>第6地区まちづくり委員会 （第6地区社会福祉協議会・第6地区自治会連合会・女性会・民生児童委員・片山中学校・莊山田小学校・至心幼稚園・社会福祉法人かしの木・（株）藤三・ウオンツ片山店・NTT西日本・陸上自衛隊・日本赤十字・西消防署・水道局・消防団呉中央分団・呉市危機管理課）</p>				
苦労した点	<p>中学校と連携しながら、中学生に主体性をもってもらうよう工夫しました。また、参加団体や地域のリーダーには、当日の役割や動きの確認をするため、打ち合わせを数回にわたり行いました。</p>				
活動状況	<p>片山中避難訓練風景</p> <p>初期消火訓練</p> <p>災害用伝言ダイヤルでの通話訓練</p> <p>避難所設営訓練</p>				
活動の成果	<p>展示訓練として、消防局によるてんぷら油火災実験に加え、今年度は陸上自衛隊による災害時の支援活動について説明を受けました。日頃、あまり見ることのない車両やバイクに乗車するなど、子どもたちにも良い体験となったと思います。</p>				


番号	16	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	中谷 一彦 木村 公一
事業名	第10回 くれ中央夏まつり（くれ絆盆踊り大会）			事業費	約1,100,000円
事業の目的	<p>中央地区には史跡や神社仏閣、伝統行事がないため、地区の祭りがなく、高齢者と若者・子どもの交流が少なくなっています。また、近年マンション等の住民は増えていますが、自治会に加入していない方も多いため、若い世代が地域行事に参加する機会が少なくなっています。</p> <p>このような中、交流と賑わいの場を創り出すとともに、地域の方の参加意識の向上を目指して、気軽に楽しく参加できるイベント「くれ中央地区夏まつり」を実施しています。なお、平成25年の第4回から、場所を体育館前の児童公園から、中央公園噴水西側に移し、ステージを組んで、呉市文化団体連合会民舞民謡部の方々等による「呉音頭」講習と「盆踊り大会」を盛大に開催しています。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和元年8月24日（土） 16時～21時 ※準備は13時～、後片付け終了は22時</p> <p>場 所：中央公園噴水西側</p> <p>内 容：模擬店運営 かき氷、たこ焼き、焼きそば、フランクフルト、焼き鳥、コロケ、唐揚げ、枝豆、カレー他 こども広場運営 ヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、ビンゴゲーム、お宝釣り、輪投げ、コイン落とし、水鉄砲、お楽しみ抽選会（うちわくじ） くれ絆盆踊り、ステージパフォーマンス （吹奏楽、和太鼓、呉氏によるダンス、ジャズバンド、神楽） 来場者：約3,000名</p>				
企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内のコミュニティ推進部会と青少年育成部会が中心となって企画立案するとともに、他の部会と民生委員、行政（市、警察、消防団）、くれ絆盆踊り実行委員会などが協働して各ブースの設営、運営に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>今年は1週間前から雨又は曇りの天候が続き、当日も曇り時々雨の天候で、開催できるか不安でしたが、椅子・テーブルなどこまめに拭き掃除を行い、何とか行事ができてホッとしています。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>呉氏Jr.のダンスでオープニング</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>呉音頭で盆踊り</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>キッズコーナーの風景</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>神楽上演（源頼政）</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>10回目となる今年は、天候不順のせいか参加人数は昨年より減少しましたが、地域の方々にとっては、夏のイベントとして定着しています。また、団体と地域との連携や、世代間交流、地域の団結にもつながっています。</p>				





番号	17	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	中谷 一彦
事業名	第10回 まるごと・中央地区ウォーキング大会			事業費	約80,000円
事業の目的	<p>中央地区は、駅に近いことから、市外へ通勤通学する方が多く、またオフィスビルも多いため、昼間人口と夜間人口の動きが激しくなっています。また、マンションが多く、共働き世帯も多いことから、人のつながりが希薄になっています。</p> <p>このような中、自治会加入者と未加入者、また地域内に住む方と地域内で働く方など、多くの方が交流し、楽しく健康づくりができるよう、「まるごと・中央地区ウォーキング大会」を実施しています。</p> <p>また、中央公園児童公園で、防災訓練炊き出しを行い、ウォーキングを終えて帰った参加者に、今年はカレーライスを提供し、疲れを癒やしました。</p>				
事業概要	<p>日時：令和元年5月18日（土） 9時～13時 参加者：約90名 内容：ゆったり散策コース 2km 中央公園→テニスコート前→呉市営プール→中央公園 健脚コース 7km 中央公園→澤原三ツ蔵前→旧海軍墓地→展望所→長迫公園 →和庄中学校前→市役所入口→中央公園 ※ゴール後、中央公園で防災訓練炊き出し（カレーライス）を実施</p>				
企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の健康づくり部会（メンバー10人）が中心となって企画立案するとともに、他の4つの部会と民生委員、防犯パトロール隊、健康増進課職員（健康くれ体操）などが協働して運営に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>平成28年より、まるごと中央地区と題して、中央地区を一週するコースを基本に設定しました。</p> <p>お年寄りや子どもの参加者が多く、交通量の多いまちなかのコースでの安全確保をしっかりと行うため、防犯パトロール隊を始め、まちづくり委員会メンバーが先導やコース管理などを行い、安心してウォーキングを行うことができるよう注意しました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>準備運動（健康くれ体操）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>散策コース（新温水プールに感激！）</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>健脚コース（澤原三ツ蔵前を進行中）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>健脚コース（展望台で一休み）</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>地域住民の健康意識を高めると共に、世代間交流の場にもなりました。</p>				

番号	18	団体名	第8地区 まちづくり委員会 及び 社会福祉協議会、自治会連合会	代表者	宮中 勇 及び 松浦 泰三、大島 正
事業名	ふれあいまつり (夏まつり・盆踊り&カラオケ)			事業費	640,074円 ※H30年度実績
事業の目的	<p>「ふれあいまつり」には、各自治会が、おでんやカレーなどの夜店の出店や、子ども会による風船ヨーヨー釣りなどのゲームコーナーを設けるとともに、盆踊り（呉音頭など）を行うことにより、第8地区のコミュニティの活性化を図ることを目的としています。</p> <p>また、今年度もサロン参加者によるカラオケ大会や各団体が持ち寄った景品の抽選会も行われました。</p>				
事業概要	<p>日時：令和元年8月18日（日）18時（開会あいさつ）～20時30分 場所：二河川公園、二河川河川敷 内容：・夜店（二河川公園） カレー、おでん、焼きそば、ジュース、かき氷、 ビール、フランクフルト、フライドポテト、枝豆、焼き鳥 ※全体のメニューは毎年同じだが、担当自治会がローテーションで交代 ・ゲームコーナー（二河川河川敷） 風船ヨーヨー釣り、くじ引き、お菓子釣りなど（子ども無料） ・カラオケ大会&盆踊り（二河川河川敷） サロン参加者によるカラオケ大会と呉音頭や炭坑節などで盆踊り ・各団体が持ち寄った景品による抽選会（二河川公園）</p>				
企画・実施した人	まちづくり委員会と地区自治会連合会および地区社会福祉協議会が協力して実施（子ども会、呉音頭普及部会、各自治会も参加）				
苦労した点	夜店で出す食べ物などのメニューを各自治会がローテーションで担当するため、材料の調達や準備方法などが毎年変わり、味や出店方法の統一に苦慮していたが、レシピ等を作成して次の自治会に引き継ぐことによって改善を図っています。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>くじ引き</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>お菓子釣り</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>「ふれあいまつり」のはじまり</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>子どもゲームコーナー（無料）</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>食券売り場</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>盆踊り</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>会場風景</p> </div> </div>				
活動の成果	ふれあいまつりによって、地域コミュニティの一層の活性化が図られるとともに、盆踊りや呉音頭を次世代に引き継ぐなど、地域の伝統文化の継承と世代間交流が促進されています。				

番号	19	団体名	第8地区 まちづくり委員会 及び 社会福祉協議会、自治会連合会	代表者	宮中 勇 及び 松浦 泰三、大島 正
事業名	とんど祭り			事業費	80,000円
事業の 目的	<p>心ふれあうまちづくりの推進のため、まちづくり委員会と地区社会福祉協議会を中心に、地元青年団、消防団などの協力によって、地区内の恒例伝統行事として毎年開催しています。</p> <p>市中心部では「とんど」を行っているところは少なく、第8地区では、近隣地区からもしめ飾りを燃やしたい人たちを受け入れており、中央地域全体の「とんど祭り」として広がりを見せています。</p>				
事業 概要	<p>日時：令和2年1月19日（日） 13時点火～15時30分 (16時30分片付け終了)</p> <p>場所：二河川公園、二河川河川敷 参加人数：約500人</p> <p>内容：とんど（二河川河川敷）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年団を中心に、ワラや竹（1.6m）などの材料を調達して、1月13日にとんどの「やぐら」を組みました。 ・会長あいさつの後、その年の干支生まれの人たち（年男年女）によってとんどに点火しました。 ・とんどでできた炭で餅などを焼いたり、笹酒（竹筒で温めた酒）で無病息災を祈りました。 ・今年も、海外からの留学生や研修生（50名以上）が参加し、自分たちで書いた書き初めをとんどで燃やしたり、笹酒を飲んだりして日本の伝統文化を経験しました。 <p>模擬店（二河川公園）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8区民生委員児童委員協議会が「ぜんざい」を振る舞いました。 				
企画・実 施した人	地区社会福祉協議会、まちづくり委員会、自治会連合会、 地区民生委員児童委員協議会、青年団、消防団など				
苦勞した 点	<ul style="list-style-type: none"> ・とんどの「やぐら」組みや材料の調達など。 ・特にとんどの「やぐら」組みは、青年団を中心にとんど実施前から多くの時間と人手をかけて組み上げています。 				
活動 状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>字がうまくなるように書き初めを燃やします</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>開始前、続々と人が集まってきます</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>大人気です</p> <p>民児協の「ぜんざい」の振る舞い</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>勢いよく燃え上がるとんど</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>とんどでできた炭で餅などを焼いて無病息災</p> </div> </div>				
活動の 成果	今年も多くの地域の方が参加し、ぜんざいや笹酒、お餅などで交流をすることができました。また、海外から多くの留学生の参加があり、地域との交流を深めました。				

番号	20	団体名	ふれあい広場三条の会	代表者	力安 鈴子
事業名	ふれあい広場三条運営事業（地域活動支援事業）			事業費	約770,000円
事業の目的	<p>誰もが気軽に集える「ふれあい広場」は、三条商店街の空き店舗をふれあい広場三条の会が借り受け、平成24年9月に開設。まちづくり委員会が家賃を支出、整備や運営はすべてふれあい広場三条の会のボランティアスタッフが当たる手作りの施設です。</p> <p>季節毎のイベントも開催され、まちづくり計画に掲げた地域課題を解決するための各事業をこの広場で実施し、「住んでよかった、いつまでも住み続けたい両城・三条地区」にしていきたいと頑張っています。</p> <p><u>何よりもボランティアスタッフの皆さんが、いきいきとやりがいを感じ、楽しんで運営にあたっておられます。</u></p>				
事業概要	<p>場所：呉市三条2丁目15-20「毛糸きくや」跡の空き店舗 （平成24年9月8日オープン）</p> <p>活動時間：毎週月曜日～土曜日（日曜・祝日は休所日）10時～16時30分</p> <p>面積：（間口）3m×（奥行）12m＝約36㎡（約11坪） 家賃 3万円/月</p> <p>利用料金：無料（お茶無料、コーヒー100円、かき氷100円（夏季限定）で提供） 誰でも利用できる無料休憩所</p> <p>運営体制：1日3人のボランティアにより運営（合計19人役/週）</p> <p>メンバー：三条まちづくり委員会会員、各自治会関係者、民生児童委員、赤十字奉仕団会員、運動推進委員、一般住民など</p> <p>利用実績：最近の利用人員 月平均 500人、一日平均 25人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日はお茶や弁当をいただきながらの気まぐれおしゃべり会 ・男性陣は囲碁や将棋の腕試し ・放課後と土曜日は、子ども（小学生）の居場所 <p>イベント：4月…お花見会 6月…七夕飾りづくり 7月…第6回 夏祭り、10月…ハロウィン 12月…クリスマス会 2月…節分豆まき 3月…震災を忘れないために11コンサート（毎年開催）</p> <p>その他、定期的に「うた声広場」、「らくらく体操教室」、「手芸教室」などを開催</p>				
企画・実施した人	<p>ふれあい広場三条の会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰でも（特に高齢者）が立ち寄れる場所を切望していた地域の有志数名 ・ふれあい広場を開設するにあたり、「ふれあい広場三条の会」を設立 ・まちづくり委員会から財政支援（家賃と平成25年度限定で空調やパソコン整備）と人的支援を受けています。 				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会との協力体制の構築 ・利用者の増加や事業の多様化に伴い、スペースの手狭感が増しています。 ・常駐するボランティアスタッフの確保（後継者の確保） ・自主財源の確保 				
活動状況	 <p>第7回ふれあい広場夏祭り</p>		 <p>スーパーボールすくいを楽しむ子ども達</p>		
	 <p>クリスマス会（有志によるハンドベル演奏）</p>		 <p>マジックショー</p>		
活動の成果	<p>地域の誰もが自由に立ち寄り、交流できる場を提供する目的として会を立ち上げ、今では、高齢者が、地域の中での人とつながり、安心して暮らしていくための「よりどころ」として利用し、放課後には子どもたちが集う憩いの場になっています。</p>				




番号	21	団体名	両城・三条地区自主防災会	代表者	山上 文恵
事業名	地域住民・両城小学校生徒合同防災訓練			事業費	約159,000円
事業の目的	<p>毎年、小学生から高齢者までの各自が主体性を持って、消火器や水消火器による消火訓練、煙中体験、ロープ結索訓練、人口呼吸等の救急・救命訓練、簡易担架による搬送訓練など5つの訓練に取り組み、災害時における自助・共助での地域力向上を図っています。</p> <p>急傾斜地を多くかかえるまちだけに、防災をまちづくりの柱の一つに位置づけ、地域のみんで災害時の対応の問題点を洗い出すことで、より多くの命が助かるよう、住民の危機管理意識を育んでいます。</p> <p>昨年度、豪雨災害があったことから、今年度は、自分達が住んでいる地域特有の危険箇所や過去の災害を知ってもらうため、まち歩きを行いました。</p>				
事業概要	<p>日時：令和元年9月28日（土） 10時～12時</p> <p>参加者：両城小学校生徒及び教諭 131名、地域住民 81名、消防署・消防団・市役所 6名の計218名</p> <p>内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 まち歩き（1年生から6年生の各班と地域住民）を実施 コース：両城小→両城公演→砂防ダム（過去の災害についての話）→両城川→両城滝上方の砂防ダム（5、6年生班のみ）→両城小 2 危機管理課職員による呉市の自然災害の歴史等について講義（まち歩きをされない方） 3 水消火器とボード板を使用した消火訓練 4 危機管理課職員による砂防ダムや土石流等についてDVD視聴・講義 				
企画・実施した人	両城・三条地区自主防災会				
苦労した点	<p>自治会と学校を中心に広報して、小学生から高齢者まで多くの人に参加してもらっています。今年度は、新たに地域のまち歩きを実施しました。</p> <p>コースの下見や学年別に班分け等を行い、受講者へ負担がかからない内容にしました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>まち歩き</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>水消火訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>講義受講</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>まち歩きにより、自分達が住むまちの危険な場所はどこか、避難所はどこかなど、地域に住む住民自身が、地域の防災情報を共有して、災害時には慌てず冷静に素早く安全に避難ができるように考えてもらうことが出来ました。</p>				




番号	22	団体名	三条地区まちづくり委員会	代表者	山上 文恵
事業名	八畳岩登山（登山道整備，登山）			事業費	3,916円 （整備費，保険等）
事業の目的	<p>地域の裏山にあって，かつて地域の人達が慣れ親しんでいた「八畳岩」への登山道が，人の手が入らないようになってから荒れ果てていました。</p> <p>8年ほど前からまちづくり委員会では，消防団の協力を得て，八畳岩までの登山道を整備し，参加者を募って春に八畳岩までの登山を行っています。</p> <p>みんなで登る八畳岩は，地域のすばらしさの再発見と地域住民の絆づくりに貢献しています。</p>				
事業概要	<p>日 時：平成31年4月13日（土）10時（集合）～13時（下山）</p> <p>参加者：8名</p> <p>内 容：八畳岩登山道整備・登山事業</p> <p>登山道を整備をしながら八畳岩に登り，後にみんなで昼食を食べた。</p> <p>【集合】 両城小学校正門に集合 → 保険申込（記入）</p> <p>【登山】 登山道にまで伸びた枝の剪定や清掃・除草などをしながら登山</p> <p>【山頂】 八畳岩にて記念撮影，山頂から自分達の住むまちを眺望しながら昼食</p> <p>【下山】 足元に気をつけて，清掃・除草などしながら下山</p>				
企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の推進部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会内にまちづくり計画に掲げる各種事業を実施するための部会を設置し，部会長を中心に事業を実施しています。 ・八畳岩登山は，地域内の良さ（お宝）を再発見し，それを維持，保存するとともに，広く住民に周知し，自分たちの住む地域に対する愛着を深める事業を展開しています。 				
苦勞した点	<p>登山道整備箇所が多く，全体の整備に時間がかかっています。年々環境が整ってきたと思っていたのですが，階段にした足場の木が崩れていたり，新しく足場が必要な場所があったりとさらに整備が必要となっています。</p> <p>整備をしながらの登山・下山であるため，負担が大きく大変でした。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>山頂での記念撮影</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>山頂からの眺望</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">山頂まで登山を行いながら登山道整備</p>				
活動の成果	<p>八畳岩に登山し，地域内の良さ（お宝）を再発見することが出来ました。また，登山道を整備し，登山道の維持管理（荒廃防止・安全確保等）を行いました。</p>				



番号	23	団体名	川原石地区社会福祉協議会および 川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	川原石地区敬老会			事業費	880,190円 ※H30年度実績
事業の目的	<p>川原石地区では、川原石地区まちづくり計画書にある「各種催し等を総合的に推進できる体制づくりに努める」とともに「世代間交流の場の創出に努める」を目標に、各団体をはじめとした協働の輪を少しずつ広げながら、敬老者に少しでも喜んでいただける敬老会が開催できるよう努めています。</p> <p>今年度も、地元中学生が司会進行するなど、地域の団体やグループ、幼稚園、小中学校、公共施設等が協力したことにより、地域全体の団結力向上、体制づくりにも役立っています。</p>				
事業概要	<p>日時：令和元年9月16日（月・祝） 9時30分～12時45分 場所：二川まちづくりセンター2階ホール 敬老会招待者：887名（うち、米寿者：32名） 来場者数：約400名（うち、敬老会招待者：130名） 内容：式典①開会のことば ②国歌斉唱 ③物故者黙祷 ④主催者代表あいさつ ⑤来賓祝辞および来賓紹介 ⑥児童代表あいさつ ⑦祝電披露 ⑧米寿者記念品贈呈 ⑨被招待者謝辞 ⑩閉会のことば 余興（アトラクション）ほか ①呉警察署「特殊詐欺防止について」 ②「琴、三絃講座」発表 ③「両城中学校生徒会・音楽部」による合唱 ④「民謡講座」発表 ⑤「ハーモニカ倶楽部 大和」発表 ⑥「安来節保存会江田島能美支部」発表 ⑦「大正琴講座」発表 ⑧お楽しみ抽選会 ⑨「明德幼稚園園児」踊りと歌</p>				
企画・実施した人	<p>地区社会福祉協議会とまちづくり委員会を中心とした地元各団体が協力して実施 ※地元の幼稚園や小中学校、警察署、二川まちづくりセンターなども全面協力</p>				
苦勞した点	<p>単独地区社協の開催のため派手な行事はできないが、各団体やグループ、幼稚園、小中学校などが協力し、手作りで地元開催ならではの敬老会を行うことができました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>中学生が司会進行とパンフレットなどの配布</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>児童代表（小学生）あいさつ</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>琴、三絃講座</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>「両城中学校」合唱</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>口琴倶楽部 大和</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>安来節保存会江田島能美支部</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>大正琴講座</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>「明德幼稚園園児」踊りと歌</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>祝う側（地域の子どもや大人の人々）も祝われる側（招待されたお年寄り）も、どちらも笑顔で本当に楽しそうで、中学生の歌「ふるさと」では自然と会場全体で合唱が始まるなど、目的の一つである「世代間交流」が十分にできました。</p>				


番号	24	団体名	川原石地区自主防災連合会および 川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	川原石地区合同防災訓練			事業費	136,599円 ※H30年度実績
事業の目的	<p>川原石地区では、その地形の特性から、土砂災害発生の危険性が大きいと考え、例年、土砂災害に備える活動に取り組んでいます。</p> <p>今年度も、大雨による土砂災害を想定し、身を守るために必要な知識や技術を習得するために、自主防災アドバイザーからの防災講話や初期消火訓練、煙中体験、炊き出し訓練など幅広い防災活動の体験を通じて、災害に備える心構えを養うべく訓練を実施しました。</p>				
事業概要	<p>日時：令和元年11月24日（日） 9時30分～12時</p> <p>場所：二川まちづくりセンター</p> <p>参加者数：地域住民約300名が参加</p> <p>内容：(1) 防災講話：広島県自主防災アドバイザーによる防災講話</p> <p>(2) 防災訓練： ①初期消火訓練 ②救急講習 ③土のうづくり ④煙中体験 ⑤炊き出し訓練 ⑥家庭でできる防災用品の作成（簡易トイレ、段ボールベッドなど）</p> <p>(3) くれ肉じゃがの会による炊き出し訓練</p>				
企画・実施した人	川原石地区自主防災連合会と川原石地区まちづくり委員会が中心となり、川原石地区赤十字奉仕団等の協力と危機管理課、西消防署狩留家出張所及び消防団湾岸分団の指導により実施しました。				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の災害に即した防災の理論と実践を学ぶ訓練にするため、どのような内容にするかを綿密に話し合ったこと。 ・参加者に「いざというときに正しく素早い行動で命を守り、周囲の人と協力してどのように災害を未然に防ぐか」を自分の身近な課題として分かりやすく伝えられるような訓練にすること。 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>自主防災アドバイザーによる防災講話</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>段ボールベッドの作成</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>救急講習</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>簡易トイレの作成</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>土のうづくり</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>防災グッズの説明</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>初期消火訓練</p> </div> </div>				
活動の成果	参加者一人ひとりが自分や家族の身を守るための知識や技術を習得するため、真剣に話を聞き、実践する姿が見られました。				



番号	25	団体名	中央地域成人式実行委員会	代表者	城 健康 (令和元年度)
事業名	中央地域成人式			事業費	1,056,000円
事業の目的	今年で11年目となる中央地域の成人式。新成人が生まれ育った地域の方々（祝う人）と新成人（祝われる人）の「顔と顔の見える」・「より心の通った」ものに移行・発展させていくため、本庁管内は9つの自治会連合会と海上自衛隊呉海曹会が合同で実行委員会を立ち上げ、地域協働課や文化振興課などの行政も一緒になって協働という形をとりながら開催しています。				
事業概要	<p>日時：令和2年1月13日（月・祝） 11時～13時</p> <p>場所：新日本造機ホール（式典及びはたちの大抽選会）、 呉市役所1階国際ソロプチミスト呉広場（はたちの同窓会ほか）、 中央公園噴水前広場（地域の贈り物）</p> <p>内容：</p> <p>(1) 新日本造機ホール 参加者数 323名（男161名、女151名） 参加率59.0%（自衛隊を除く参加率85.7%）</p> <p>①記念式典（成人リーダーの司会進行、記念品・花束贈呈、はたちの誓いなど） ②はたちの大抽選会（成人リーダーの企画・進行で開催される抽選会）</p> <p>(2) 本庁1階国際ソロプチミスト呉広場</p> <p>①はたちの同窓会（なつかしい学友や恩師を囲んでの同窓会） ②記念撮影コーナー（常設） ③誓いのボード（新成人が、はたちの誓いをボードに書き込む・常設）</p> <p>(3) 中央公園噴水前広場</p> <p>①地域の贈りものブース（各地区や自衛隊からの食べ物でのおもてなし）</p> <p>その他：地区住民や市立呉高等学校生徒ボランティアによる受付、ステージ及び模擬店開催等の支援、ボランティアによる模擬店支援など</p>				
企画・実施した人	中央地域成人式実行委員会 (中央地域の9つの自治会連合会、海上自衛隊呉海曹会、呉市)				
苦勞した点	新成人代表を企画段階からスタッフに加え、式典での役割や式典後のイベント内容について、何度も会議を開催したが、クラブ活動・アルバイト等で多忙なため全員が出席することが少なく、無事に終わるのか最後まで不安だった。				
活動状況	 <p>式典の様子</p>		 <p>成人リーダーはたちの誓い</p>		
	 <p>はたちの同窓会コーナー</p>		 <p>地域の贈り物ブース</p>		
活動の成果	中央地域では、9つの自治会連合会、海上自衛隊及び行政が協力して実施している。今年度も成人リーダーの主体的な働き、さらに呉市立呉高等学校の学生によるボランティアの働きにより、地域が一体となって新成人を祝う取り組みとなった。				

番号	26	団体名	詩歌創作大会実行委員会	代表者	塙水尾 陽子
事業名	第29回 詩歌創作大会			事業費	約100,000円
事業の目的	郷土に伝わる古歌「よし浦のさと」（藤原為時（紫式部の父）が詠んだ歌）の碑が町民グラウンド公園内に建設されています。 これを地区の文化財として大切に守り伝えるとともに、小・中学生による詩歌創作大会を開催し、青少年・児童の情操教育並びに、文化の向上の一環を目的としています。				
事業概要	<p>日 時：令和元年5月11日（土）</p> <p>事業内容：詩歌創作とお茶席（抹茶）体験</p> <p>（1）児童及び生徒による短歌づくり 吉浦の自然にふれ、感じたままを5, 7, 5, 7, 7の言葉で表現する。 →後日、審査員会にて優秀作を選び、表彰する。</p> <p>（2）お茶席 お茶の先生の指導のもと、お茶席を体験。抹茶と饅頭で楽しく過ごす。</p> <p>参加者数：吉浦小、吉浦中の児童及び生徒 約 65名 保護者、運営スタッフ等 約 95名 合計 約160名</p>				
企画・実施した人	詩歌創作大会実行委員会（吉浦地区の民児協ほか7団体で構成）				
苦労した点	今年度は、天候に左右されないように、まちづくりセンターに会場を変更しました。 小学校では高学年で短歌を学習することもあり、低学年にとって創作は難しいことかもしれませんが、子供らしく、見たまま、感じたままを素直に表現するように、また、中学生には「吉浦」という言葉ではなく、「吉浦」とわかる言葉や語句等での表現に努めるよう指導しています。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p>古歌「よし浦のさと」</p> <p>藤原為時 作 「かくまでに、思はざりしに、来てみれば いと住みやすき、よし浦のさと」</p> <p>* 吉浦の吉は、豊臣秀吉が名付けたとの いわれがあります。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center;">開会式</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center;">お茶席</p> </div> </div>				
活動の成果	地元の文化に触れ、詩歌創作する貴重な経験の場となっています。 毎年開催することにより、青少年・児童の情操教育や文化向上の一翼をになっています。				







番号	27	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	尾茂田 孝信
事業名	第14回 吉浦地区防災訓練			事業費	約100,000円
事業の目的	吉浦地区全体で防災活動の機運を高め、楽しみながら消火活動や避難の模擬体験をし、さらなる地域の防災意識の高揚を図ることを目的として、平成18年度から継続して訓練を実施しております。				
事業概要	<p>日時：令和元年10月20日（日） 10時～11時50分 ※準備は8時30分～</p> <p>場所：吉浦小学校</p> <p>内容：(1) 第1部（避難・誘導訓練）《地区住民約200名》 ・避難場所（吉浦各地区から吉浦小学校へ徒歩での避難開始） （吉浦小学校へ避難者を誘導）《自治会長、民生・児童委員》</p> <p>(2) 第2部（実地訓練） ア 初期消火訓練（消火器による消火訓練） イ 防災意識訓練（防災パネル展示による防災意識を高める訓練） ウ 応急救護訓練（重傷者への応急処置、AED使用方法の講習）</p> <p>(3) 第3部（給食・給水訓練） ・吉浦女性会による炊き出し（むすび、味噌汁等） ・民生・児童委員による災害備蓄食品（水、災害備蓄食品）の配布、試食</p>				
企画・実施した人	平成18年度に、吉浦地区自治会連合会が消防庁の安心安全ステーション整備事業のモデル地区に選ばれ、これを機に吉浦地区全体で防災活動の機運を高めていくために、西消防署や地元消防団の御指導をいただきながら、吉浦女性会、民生・児童委員協議会をはじめとする各種団体の協力のもと事業を始めました。				
苦勞した点	防災訓練の規模を大きくして参加者を増やしたらどうかという話もあり、次年度以降の検討課題となりました。 また、若い世代の運営スタッフ等への積極的な参加が求められています。				
活動状況	<div style="text-align: center;">  <p>応急救護訓練</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>初期消火訓練</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>炊き出し訓練（味噌汁配布）</p> </div> </div>				
活動の成果	毎年地区をあげて開催することにより、防災意識の高揚につながっています。 また、実地訓練により非常時の対応の習得につながっています。				

番号	28	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	前山 薫
事業名	第23回 警固屋さくら祭			事業費	692,317円
事業の目的	警固屋地区における地域まちづくりのシンボリックイベントとして、地元住民を中心に自立した運営を進めることにより、地域住民のまちづくりへの参画及び地域内外の交流の促進を図ることを目的として実施しております。				
事業概要	<p>日時：平成31年3月31日（日） 10時～14時 場所：警固屋まちづくりセンター駐車場 内容：【ステージ】 出演：日新製鋼シルバーサウンズ，警固屋みらい保育園，消防団はしご隊，鍋保育所，警固屋小学校，鍋ひよっこ踊り同好会，県民踊レイフラワーオハナ警固屋，鍋よっしゃこい踊同好会，メープルカイザーショー，呉氏のキッズ隊，清盛太鼓</p> <p>【売店】 さくら茶屋（警固屋中学校生徒による野点） 地元団体など計11の飲食ブース及び物販ブースを出店</p> <p>【その他】 花の苗無料配布，警固屋学園コーナー，餅つき（消防団） マツダ車展示（呉郷心会），健康管理（警固屋地区運推） フリーマーケット（計16区画）</p>				
企画・実施した人	まちづくり協議会内に設置されている企画部会（部会員10名，オブザーバー5名）が，イベントの企画立案から実施までを担当。この他にも，自治会や女性会，民生委員協議会など地元団体のメンバーが協働し設営から運営，撤去までを行いイベントを盛り上げました。				
苦勞した点	ステージや出店等もマンネリ化しており，新しい出し物なども検討しているが，予算も少なく，天候にも左右されやすいので，なかなか実現できない。				
活動状況	 				
活動の成果	警固屋地区におけるまちづくりのシンボリックイベントとして，地区内外の人々との交流機会の創出を図るとともに，まちづくり活動におけるより一層の住民参加に資することができた。				





番号	29	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	前山 薫
事業名	農業体験交流事業			事業費	40,000円
事業の目的	<p>警固屋小学校の1年生・ひまわり学級を対象に、農作業体験や収穫体験をさせるとともに、焼き芋を焼いて子どもたちに食べてもらうことで、地産地消や食育について学ぶ機会を設ける。</p> <p>また、地域住民にも事業へ参加してもらうことで、子どもたちと地域住民の交流促進を図る。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和元年12月4日（水） 9時～11時30分</p> <p>場 所：警固屋6丁目11番付近の畑</p> <p>参加者数：46名（1年生児童・教諭・まち協役員・農協職員・地域ボランティア）</p> <p>内 容：野菜の収穫体験 焼き芋・豚汁の試食 農作業体験（耕運機等の使用体験）</p>				
企画・実施した人	<p>まちづくり協議会の構成団体である警固屋11区の自治会長が主体となって企画立案し、当日はまち協理事、農協職員、警固屋11区自治会有志などの協力をいただいて実施しました。</p>				
苦労した点	<p>警固屋11区自治会の方が積極的に参加して運営してくれたため、終始地域の方主導で事業を進めることができました。</p> <p>植え後の畑のお世話は、ボランティア精神旺盛な11区の自治会長が主になっていただき、警固屋小学校、警固屋まち協の方々から感謝されています。</p>				
活動状況					
活動の成果	<p>子どもたちに農作業体験や収穫体験をさせるとともに、焼き芋を焼いて子どもたちに食べてもらうことで、地産地消や食育について学ぶ機会を設けることができた。</p> <p>また、地域住民にも事業へ参加してもらうことで、子どもたちと地域住民の交流促進を図ることができた。</p>				

番号	30	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	前山 薫
事業名	地域貢献人材発掘育成事業			事業費	27,594円
事業の目的	警固屋地区のイベントなどへの参加を通じ、地域まちづくりに貢献してくれる新たな人材の発掘・育成を図ることを目的として実施しております。				
事業概要	<p>日 時：令和元年 7月 7日（日） 9時～10時 （長郷浜清掃） 令和元年 9月14日（土） 8時30分～10時（宇佐神社） 令和元年10月12日（土） 8時～9時30分（貴船神社） 令和元年11月17日（日） 8時30分～13時（旧鍋小）</p> <p>場 所：（長郷浜）警固屋9丁目 長郷浜の砂浜 （宇佐神社）警固屋4丁目 宇佐神社境内及び近辺 （貴船神社）警固屋8丁目 貴船神社境内及び近辺 （旧鍋小）的場4丁目 旧鍋小校庭</p> <p>参加者数：（長郷浜）中学生22名，教職員6名，自治会100名 （宇佐神社）小学生19名，中学生25名，教職員16名，自治会30名 （貴船神社）小学生15名，中学生15名，教職員15名，自治会25名 （旧鍋小）中学生18名，教職員5名，自治会役員等30名</p> <p>内 容：行事に興味を持ってもらうため，秋祭り前の幟立て等を行う際に準備風景を見ながら小中学校の児童生徒にも清掃活動に参加してもらう。</p>				
企画・実施した人	まちづくり協議会理事役員の方が企画し，この他にも，警固屋小・中学校，自治会などに協力していただきました。				
苦労した点	学校行事としてではなく，地域行事としての任意参加であるため，どの程度の参加協力が得られるか不安でしたが，多くの方が参加してくれて有意義な事業になりました。				
活動状況	 				
活動の成果	地域清掃をはじめとする警固屋地区のイベントへの参加を通じ，警固屋学園の小・中学生の中から警固屋のまちづくりに貢献してくれる新たな人材の発掘・育成を図ることができた。				

番号	31	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	第42回今昔子どもふれあい大会			事業費	650,000円
事業の目的	<p>阿賀のみんなが集い参加して盛り上がっていただける町民の祭りを開催。 阿賀地区では昭和40年頃から、女性会・老連・子ども会が合同で「今昔子ども創作大会」を開催してきた。平成23年度から、この大会を阿賀町全体の祭りにするため、阿賀まちづくり推進協議会の主催とし、阿賀の地域団体全てが参加し『今昔子どもふれあい大会』として開催している。</p>				
事業概要	<p>今の子どもと昔の子どもが集い体験交流を深める事業として『今昔子どもふれあい大会』を実施。 阿賀まちづくり推進協議会の各団体、アカデミア参加学校等及び地元企業の協力によりイベントや屋台、ステージアトラクション等を実施した。 日時：令和元年6月2日（日） 9時～15時 場所：阿賀市民センター 内容：イベント プラバンづくり、マスコットづくり、書道体験、アートバルーン、紙ひこうき、豆つかみ競争、紙ずもう、どんぐりコマ、折り紙、飲酒運転体験メガネ、交通安全グッズ配布、ものづくり体験ほか 屋台 コーヒー&クッキー、焼きそば、うどん、綿菓子、ポップコーン、中華おこわ、カレーライス、くじびき、ジュース ステージ 吹奏楽演奏（市立呉高等学校、広島文化学園大学）、よさこいソーラン（阿賀中学校）</p>				
企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦労した点	参加団体が多いため、事前の連絡調整の徹底が必要であった。				
活動状況					
活動の成果	<p>事業を実施したことで、子どもと昔の子ども（高齢者）が、世代を越えた交流を図ることができた。また、地域の参加により阿賀まち全体の交流の場となった。</p>				





番号	32	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	令和元年度阿賀地区「成人の集い」			事業費	400,000円
事業の目的	阿賀地区在住及び阿賀地区出身の新成人を祝うため、記念式典及びはたちの同窓会を実施する。				
事業概要	<p>日時：令和2年1月13日（月・祝）11時～13時 場所：阿賀まちづくりセンター3階ホール及びロビー 内容：第1部 記念式典 はたちの誓い（新成人より男女各1名） 記念写真撮影（恩師の先生を交えて撮影） アトラクション（市立呉高校による吹奏楽演奏） 第2部 はたちの同窓会 小中学校の同級生や恩師の先生を囲んでの同窓会 阿賀町の歴史写真の展示 写真立ての記念品と一緒に新成人に記念写真を配布 お茶・お菓子の提供</p>				
企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦労した点	阿賀まちづくり推進協議会が実行委員として開催しており、当日の各団体の役割分担や、新成人に阿賀まちを再認識してもらうような展示や取り組みを行いながら、式典からはたちの同窓会への移行がスムーズになるよう工夫した。				
活動状況	 <p>記念式典</p>  <p>はたちの誓い</p>   <p>アトラクション</p>  <p>はたちの同窓会</p> 				
活動の成果	新成人にとって、ふるさと阿賀を見直すきっかけとなり、阿賀町民みんなで新たな門出を祝うことができた。				


番号	33	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	阿賀まち銘板事業			事業費	600,000円
事業の目的	<p>阿賀まちには、隠れた歴史的な名所・旧蹟・伝承などが多くあるが、その場所や由来を示す標識などはほとんど設置されていない。そこで、由来や伝承などを書いた銘板を設置し、地元の歴史的資源を知ってもらおうとともに、郷土への関心を高めていこうとして始まったもの。</p> <p>今年度、この銘板設置事業の集大成として、「あがまち銘板散策マップ」を作成し、阿賀町内へ全戸配布した。</p>				
事業概要	<p>現在、呉工業高等専門学校の協力を得て作成した銘板を、町内20カ所に設置している。その集大成として、各銘板のいわれと設置場所を示す地図を作成し、気軽に散策してもらえる冊子を作成した。また、阿賀にまつわる昔話も掲載し、阿賀の歴史を思い返すよう工夫した。完成した冊子（A5サイズP26）を阿賀町内に全戸配布した。</p> <p>これまでに、26年度は7カ所、27年度は5カ所、28年度は5カ所、29年度は3カ所の銘板を設置し、合計20カ所に設置している。</p>				
企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会（阿賀歴史文化研究会）				
苦労した点	気軽に散策できるような地図の作成と、設置場所によっては位置がわかりづらいものもあり、目印となる看板の設置や場所を示すQRコードの作成を行った。				
活動状況					
活動の成果	阿賀まちに新たな名所を阿賀町民に地域の歴史を見直すきっかけとなり、ふるさと再発見につながった。				

番号	34	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第46回広子ども祭			事業費	1,900,000円
事業の目的	広地区の子どもたちの健全な育成を願って、地域の大人と子どもが一体となって開催する行事。				
事業概要	日時：令和元年5月12日（日）11時～16時 場所：広公園，白岳小学校 内容：①交通安全おみこしパレード（広商店街～広公園） ②広公園会場 夢ふうせん，遊び広場 ③白岳小学校会場 消防コーナー，リサイクル・エコロジー学習コーナー				
企画・実施した人	主催：広まちづくり推進協議会 共催：広地区社会福祉協議会，呉市赤十字奉仕団広分団 主管：広子ども祭実行委員会，広子ども会連合会 ※その他，協力・協賛団体あり				
苦労した点	関係団体との連絡調整				
活動状況	   				
活動の成果	子ども会離れをしている中で、このイベントをきっかけに子ども会活動に参加・加入してくれる子どもがいる。 また、交通安全に対する意識と、日頃体験できない多種多様なコーナーがあり、子どもの意識の向上につながっている。				





番号	35	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第71回広地区教育祭			事業費	3,400,000円
事業の目的	広村の先人が遺した旧広村公会堂前（現・広小学校）にある「教育第一」の石碑の精神を受け継ぎ、昭和24年から開催。「学ぶ・創る・楽しむ・夢がひろがる」をスローガンに、世代を問わず、文化行事からスポーツまで地域を挙げて行う伝統行事。				
事業概要	11月のおよそ1か月間をかけて、作品展示や舞台発表、教育功労者表彰式、交流広場などを開催。また、関連行事として、音楽祭、合唱祭、歴史講演会といった特色ある文化行事やスポーツ大会を開催している。				
企画・実施した人	主催：広まちづくり推進協議会 共催：呉市 主管：広地区教育祭実行委員会ほか ※イベントごとに実行委員会設立 後援：呉市教育委員会 ※その他、協力・協賛団体あり				
苦勞した点	関係団体との連絡調整、参加者（団体）の事前準備				
活動状況	期間中の延来場者数 約14,000人 ■第9回広地区音楽祭 11月3日（日） 広地区中学・高校・大学の吹奏楽部と社会人バンドが集う音楽イベント。地域の一体感の創出と技術のレベルアップを目的に、定着したイベントになっている。 ■教育功労者表彰式 11月23日（土・祝） 広地区の教育文化の向上に寄与した個人・団体を表彰する式典。今年は個人11名と団体1団体を表彰した。		 		
活動状況	■文化講演会 11月23日（土・祝） 「苦しみを笑いに変えた野球人生」と題して元広島東洋カープの達川光男さんに、講演をしてもらった。 ■第8回広地区合唱祭 11月24日（日） 広地区のコーラスグループの交流、夢や希望を与えるイベントとして文化の向上に寄与している。 ■その他、かるた大会、児童・生徒の作品展、講座・サークル活動の発表、高校生による大書揮毫、歴史講演会「愛ひろ心」、交流広場、健康コーナーなど、期間中はたくさんの関連行事を開催している。				
活動の成果	広地区全体で行うイベントのため、それぞれの分野の活性化につながっている。今後は、若い力を取り入れた行事を計画し、広地区の魅力を多くの方に発信していく。				

番号	36	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第16回広地区クリーン活動			事業費	110,000円
事業の目的	小・中学校を中心とした年末のクリーン活動を地域が一体となって実施することで、世代間交流を促進し、まちの環境美化意識を啓発する。				
事業概要	<p>日時：令和元年12月4日（水） 13時～16時</p> <p>場所：広地区小学校，中学校（集合場所・解散場所）</p> <p>内容：学校区ごとに実施する清掃活動。各児童・生徒をはじめ地元市民団体も参加し一緒に清掃活動に取り組むことで、学校区域内の明るい環境を整備するとともに地域のつながりを持つことで、登下校時の安心と安全につながっている。</p>				
企画・実施した人	<p>広まちづくり推進協議会・広地区小中学校（合同事業）</p> <p>協力：地区自治会など（合同清掃），広警察署（安全パトロール）</p> <p>呉市環境業務課（ゴミ収集）</p>				
苦労した点	学校によっては，地区自治会などとの連携がうまくとれていない学校があり，調整するのに苦労した。				
活動状況	   				
活動の成果	地域と学校が連携することで，地域の見守りや安心安全なまちづくりにつながっている。				


番号	37	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	土岡 郁男
事業名	仁方地区自主防災会合同避難訓練			事業費	約120,000円
事業の目的	仁方地区の地域防災避難行動に焦点を当てた実践的な訓練を通じて、一人一人が安全・確実に避難するための避難通路、避難場所、一時避難場所などを確認しながら、防災意識の高揚を図ることを目的とし、11自治会が連携し仁方地区自主防災会合同避難訓練を実施しました。				
事業概要	<p>日時：令和元年6月1日（土） 9時30分～11時30分 場所：仁方小学校（命かがやく広場・体育館） 内容：①各地区訓練場所の区域内に配置した消防団車両及び消防団員により「避難指示の発令」の広報を実施 ②自治会・自主防災会組織、東消防署、消防団が連携協力して、避難の呼びかけや避難誘導を行いながら、各地区指定場所に集合し、仁方小学校に避難 仁方小学校に到着後、東消防署の指導により各自治会単位で消火訓練を実施 ③応急救護訓練（東消防署仁方出張所） 「心肺蘇生法」 ④応急手当等（日本赤十字社広島県支部） 「身近な物を使った応急手当」「非常時に役立つ簡易リュックの作り方」 ⑤防災講話（呉市総務部危機管理課） 「自分の命を守るための防災知識」 ⑥炊き出し配布（女性会） 家庭の身近な食材を利用して、炊き出しを実施のうえ、配布</p>				
企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会と同地区自主防災会が中心となり企画しました。				
苦労した点	災害時において、どのように対応するか、各地区の実情に即した訓練内容の検討				
活動状況	 <p>応急救護訓練</p>		 <p>応急手当等</p>		
	 <p>防災講話</p>		 <p>炊き出し配布</p>		
活動の成果	自治会・自主防災会組織、消防署、消防団が連携協力して、避難の呼びかけや避難誘導を行い、避難通路、避難場所などを確認することにより、防災意識の高揚を図った。				





番号	38	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	土岡 郁男
事業名	仁方夏まつり			事業費	約920,000円
事業の目的	仁方地区のまちづくり計画では「仁方のことをもっと知り、もっと好きになり、より良い町にするために」をスローガンに「人と人との繋がりのあるまちづくり」を目指しています。そのまちづくりの一環として仁方夏まつりを開催しました。				
事業概要	<p>日時：令和元年7月27日（土） 17時～20時 場所：仁方中学校（グラウンド） 内容：第1部 ①仁方中学校吹奏楽部演奏 ②よさこい踊り（仁方地区子ども会連合会） ③仁方中学校 ダンス ④ビンゴゲーム（仁方地区子ども会連合会）</p> <p>特別出演 呉氏 jr. 第2部 ①呉音頭総踊り ②盆踊り ③お楽しみ抽選会</p> <p>屋台村 ビール・チューハイ・ノンアルコールビール・ジュース・ お茶・大和ラムネ・ポテトフライ・あげタコ焼き・焼き鳥・ 炊き込みご飯・焼きそば・フランクフルト・ポップコーン・ 干しエビ・アイスもなか・かき氷・抹茶セット・グリーンティー・ カレーライス・バザー・射的・スーパーボールすくい・おもちゃ・ ヨーヨーつり</p> <p>役割分担：仁方町まちづくり推進協議会幹事等が仁方夏まつりの実行委員会の責任者になって企画及び実施した。</p>				
企画・実施した人	仁方まちづくり推進協議会委員等による、仁方夏まつりの実行委員が中心となって、各種地域団体の協力により、イベント、屋台のブース設営等を行いました。				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・仁方夏まつりを盛り上げていくための盆踊りの練習 ・屋台担当者における作業等の負担増 ・会場準備及び後片付けの役割分担等の調整 				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">第1部イベント風景</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">第2部イベント風景</p>				
活動の成果	仁方まちづくり推進協議会委員等による実行委員会により、会場内には各団体による飲食ブースの出店、ステージイベント、盆踊り、ビンゴによる抽選会を開催し、地域住民間の交流を図った。				





番号	39	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	土岡 郁男
事業名	「春が楽しみ！チューリップ」事業			事業費	約300,000円
事業の目的	チューリップを育てて、まちに彩りと潤いを与え、人と人がつながることによって、魅力ある「仁方のまちづくり」を推進するものです。				
事業概要	<p>各自治会、小・中学校、保育所、認定こども園、福祉施設等にチューリップの球根、培養土等を配付し、プランター等に植えて、人が集まり、多くの人から見える場所で育てていくものです（入学式頃に仁方町の各所で一斉にチューリップが開花する。）。</p> <p>球根、培養土の配付…9月20日（金） 各自治会、小・中学校、保育所、認定こども園、福祉施設等に球根及び培養土を配付 球根の植付け時期…10月初旬～11月初旬 プランターや公園等に植付け 配付球根数…5,880個（赤、ピンク、黄、白の4色） *配付球根のほか昨年度育てた球根も活用しました。</p>				
企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会が中心となって、小・中学校、保育所、認定こども園、福祉施設等の協力により実施しました。				
苦労した点	この事業を継続するための予算の確保（広島県みどり推進機構の助成を活用）。実施における球根の植付けから芽が出るまでの水やり等において、主担当者の負担増が生じている。				
活動状況	 <p>西町自治会</p>		 <p>大東自治会</p>		
	 <p>認定こども園しろはと</p>		 <p>仁方こども園</p>		
	 <p>仁方小学校</p>		 <p>仁方中学校</p>		
活動の成果	自治会、学校、保育所等をはじめ、プランター等に植付け、春にはチューリップの花が咲き、環境美化に繋がるとともに、共同で花を育てることにより、住民相互の絆を深める一助となっている。				

番号	40	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	土岡 郁男
事業名	地域交流懇談会			事業費	約8,000円
事業の目的	「仁方っていいなあ。そんなまちづくり～ふれあい・支え合う福祉のサービス」をテーマに講演，意見交換等を通して考え，住みよい仁方のまちづくりの取組の一助とするものです。				
事業概要	<p>日 時：令和2年1月25日（土） 10時～11時30分 場 所：仁方まちづくりセンター3階ホール テーマ：仁方っていいなあ。そんなまちづくり ～ふれあい・支え合う福祉のサービス～</p> <p>内 容：①開会式 ②発表 新しい施設の概要と事業効果 特定非営利活動法人ぼでーる 多機能型事業所 施設長 中島 満江さん 施設の事業内容，支援の取組 社会福祉法人三篠会 福祉施設仁方 施設長 青森 浩之さん ③演題1「ふれあい・いきいきサロンの目的と効果」 講師 呉市社会福祉協議会 主事 山田 尚輝さん 演題2「あなたが支える地域は，あなたを支えてくれる地域 ～「話し合いの場」から始まる地域づくり～」 講師 呉市社会福祉協議会 主事 堤 恵太さん ④閉会式</p>				
企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会役員が中心となって企画し，仁方にある福祉施設等の協力により実施しました。				
苦労した点	・発表者と講師の発表及び講演内容の調整				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">施設の概要と事業効果並びに施設の事業内容，支援の取組についての発表</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ふれあい・いきいきサロン並びに話し合いの場から始まる地域づくりについての講演</p>				
活動の成果	仁方の福祉について，講演，意見交換等を通して考えることにより，住みよい仁方のまちづくりへの取組の一助となっている。				

番号	41	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	阪井 昌行
事業名	宮原ホタルの里開放事業・ホタルんクラブ活動			事業費	192,000円
事業の目的	地域内を流れる神原川のきれいな水を利用し、神原公園の一部と隣接する森と湿地をホタルの育成地として地域住民によって整備した「宮原ホタルの里」を、ホタルが羽化する6月にどなたでも観賞できるよう開放するとともに、ホタルの里を宮原地区の宝として、広くPRするため「宮原ホタルん」をイメージキャラクターとして活用。また子ども達の発案による「ホタルんクラブ」により幼虫を育成し、維持していくことを目的とする。				
事業概要	<p>平成22年に呉市の「まち普請事業」や平成24年に第一生命と都市緑化機構の「緑の環境デザイン賞」を受賞し、交付金や助成金で神原公園に隣接する湿地（約600㎡）の整備や神原公園内の小川とホタルの幼虫・メダカなど小生物のすみかとなる池の築造やあじさいの植樹を行うなど、多くの町民ボランティア及び地元の小中学生の協力を得ながら、平成25年3月末に「宮原ホタルの里」は完成した。毎年、地域住民、地元小・中・高校生と連携し行事や清掃等を実施している。</p> <p>令和元年度は、下記のとおり行事等を実施した。</p> <p>6月 1日～20日 ホタルの里観賞会 6月 1日 観賞会オープニングセレモニー 6月 5日 クリーン活動 7月 29日 アジサイ剪定</p> <p>また、平成29年度に誕生したご当地キャラ「宮原ホタルん」を活用しホタルの里をPRするため、イベント参加やグッズの作成を行ったり、子ども達の発案により「ホタルんクラブ」を結成、子どもまちづくり事業の助成を受けながら、子ども達でホタルを養殖し、育てた幼虫をホタルの里に放流して地域ぐるみで里の維持活動を行っている。</p>				
企画・実施した人	宮原地区まちづくり推進委員会が中心となって、自治会連合会等の地元団体や地元小中学校などの協力を得て行った。 引き続き地元の住民や小中学生の協力を得ながら管理運営を行う。				
苦労した点	宮原の「宝」としてホタルの里を伝承していくためにも後継者育成が急務とされているが、若い世代の人材不足で思うように進んでいない。 宮原地区以外の方に、ホタルの里の存在や活動が十分周知されていないため、PRに苦労している。				
活動状況	 <p>ホタルの里観賞会</p>		 <p>観賞会オープニングセレモニー</p>		
	 <p>「ホタルんクラブ」活動</p>		 <p>宮原ホタルんの活用</p>		
活動の成果	学校との連携も深まり、宮原地区に住む子どもからお年寄りまで幅広く活動が周知され、定着しつつある。				

番号	42	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	阪井 昌行
事業名	みんなで防災を考える集いin宮原2019			事業費	113,000円
事業の目的	平成30年の西日本豪雨を始め近年激甚災害が日本国内各地で発生する中、宮原地区の住民にもいざという時のための防災知識を、イベントに気軽に参加してもらい、楽しく学んでもらうことで、より多くの住民が防災意識を高めるよう啓発することを目的とする。				
事業概要	<p>日 時：令和元年12月1日（日） 10時～12時 場 所：呉市立宮原中学校 体育館 参加者：約150名</p> <p>《第1部》 研究発表 ○宮原中学校1年生による「防災について」の発表 「総合的な学習の時間」で防災について研究してきたことをステージ発表した。</p> <p>《第2部》 体験コーナー 各コーナーを巡るスタンプラリー形式で実施。指定のコーナーに参加すると受付で配布するカードにスタンプを押印。規定数のスタンプを集めたら「防災グッズ」をプレゼント。</p> <p>○防災体験プログラムの実施（宮原中学校生徒とのコラボ） ・持ち出し品なあに？クイズ ・なまずの学校 ・防災カードシャッフル ・紙食器づくり</p> <p>○消防職員・消防団による防災に役立つ実践訓練 ・ロープワーク講習・土のう作り体験・水消火器的当て・AED・心肺蘇生法講習 ・豪雨・暴風体験装置（HERASEON）</p> <p>○給水体験 ・（一財）中国地方郵便局長協会から寄贈を受けた給水ポリタンクを使用し、給水袋に水を給水する体験。給水袋は参加者にプレゼント。</p> <p>○生協ひろしまとコラボし、非常食の試食・説明 ○お菓子で非常食バッグを作ろう（子どものための非常食）</p> <p>展示コーナー ○宮原小・坪内小児童の学習発表展示 ・小学校の授業で防災に関して学んできた成果物の展示 ○平成30年西日本豪雨の宮原地区被災マップの展示、ハザードマップの配布 ○消防車・救急車の展示</p>				
企画・実施した人	宮原地区まちづくり推進委員会防災・減災幹事会、宮原地区自主防災会、宮原中学校、呉市消防団大和分団、くれ協働センター、生協ひろしま、呉市消防局西消防署				
苦勞した点	中学生と連携するためスタッフ参加者と合同で事前研修会を開催した。初めての企画のため各団体に主旨を説明し、賛同・協力を得て参加してもらうのに苦勞した。				
活動状況	 <p>第1部・中学生の研究発表</p>		 <p>体験コーナー・防災体験プログラム</p>		
	 <p>体験コーナー・給水体験</p>		 <p>体験コーナー・役立つ実践訓練</p>		
活動の成果	今年度初めて立ち上げた防災・減災幹事会の活動を形あるものとして始められるとともに、地域住民の防災意識を高めることができた。				

番号	43	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	阪井 昌行
事業名	宮原ホタルん大納涼会			事業費	265,000円
事業の目的	今年度策定した第2次宮原地区まちづくり基本計画に基づき、これまで行っていた「ホタルまつり」をグレードアップし、子どもからお年寄りまで宮原地区に住む誰もが集い、ふれあい、楽しめるイベントを開催し、住民同士のコミュニケーションを図り、宮原が一つになって郷土愛と絆を醸成することを目的とする。				
事業概要	<p>日 時：令和元年8月24日（土）17時～19時30分 場 所：宮原中学校 グラウンド 内 容：まち推の構成団体と、地域の教育機関・企業からブース出店を協力してもらった。</p> <p>【フードゾーン】 宮原女性連合会、坪内小学校PTA、宮原中学校PTA、後藤保育所、(株)IHI呉事業所、ジャパンリソリテッド(株)呉事業所 【プレイゾーン】 宮原小学校PTA、後藤保育所、更生保護女性会・宮原児童館、呉宮原三・七郵便局 【ステージ】 宮原盛り上げタイ、宮原体育協会、宮原中学校吹奏楽部、呉宮原高校ダンス部・吹奏楽部、ジャパンリソリテッド(株)ベトナム実習生、日鉄日新製鋼(株) 【お楽しみ大抽選会】 ステージ演目終了後、宮原盛り上げタイによる抽選会 ※専属スタッフ協力 ・宮原地区老人クラブ連合会、第1区民生委員児童委員協議会 宮原地区自治会連合会、宮原健康づくり推進協議会、呉市消防団大和分団</p>				
企画・実施した人	宮原ホタルん大納涼会実行委員会（まち推構成団体の長及び推薦委員）				
苦労した点	昨年までの「ホタルまつり」をベースに企画したが、初企画のステージの設置や場所を宮原中学校で行ったことによる会場レイアウトや駐車場設定、運営スタッフの動きなど、初めての部分が多く、運営体制を固めるのに苦労した。				
活動状況	 <p>フード・プレイゾーン</p>		 <p>ステージ</p>		
	 <p>お楽しみ大抽選会</p>		 <p>会 場</p>		
活動の成果	初めての開催で不安もある中、地域住民全員が参加できるイベントが開催でき、住民同士のコミュニケーションや団体同士の連携を図ることが出来、参加者全員に喜んでもらえたので大変良かった。				


番号	44	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	鯉のぼりの吹き流し			事業費	約90,000円
事業の目的	<p>鯉のぼりの吹き流しは地元ボランティアにより実施している。竹林から竹を切り出したり、鯉のぼりを取り付けて掲げるなど、地域の方が協力して作業することで、地域交流の機会を創出している。</p> <p>また、近年ではあまり見られなくなった鯉のぼりを掲げることにより、呉ポートピアパークに来園する多数の親子連れの語らいの場を設けるとともに日本の伝統文化に触れる機会を提供している。</p>				
事業概要	<p>日時：平成31年4月10日（水）～令和元年5月29日（水）</p> <p>場所：呉ポートピアパーク 海沿いの遊歩道</p> <p>内容：各自治会から2～3名の参加を得て呉ポートピアパークに16本の鯉のぼりを立てる。</p> <p>約1か月後に各自治会の協力を得て鯉のぼりを撤去する。</p> <p>（竹竿は各自治会から2～3名の参加を得て10月頃に山から切り出し、4月まで天応中学校に保管し、4月に呉ポートピアパークに移動させる。）</p> <p>※平成13年度から始まったこの事業は、毎年80匹程度の鯉のぼりを掲げており、今では呉市の春の風物詩となっている。</p>				
企画・実施した人	まちづくり委員会のメンバーである各自治会から2～3名の参加を得て、竹林からの竹の切り出し、鯉のぼりの取り付け、撤去、修理に当たった。				
苦労した点	<p>海の側に立てているため、強風に伴い海に落ちたり、破れたりするなど損傷が激しい。なるべく修理しているが、定期的に鯉のぼりを購入しないと事業の継続が難しくなる。（以前から不要になった鯉のぼりを募集しているが、提供者が激減している。）また、風雨のため鯉のぼりが竹竿に巻き付いたり、緩んだりすることが多々あるため、頻繁に点検する必要がある。</p>				
活動状況	 <p>今や地域の風物詩として定着しています</p>		 <p>海沿いの遊歩道に16本の竹竿を立てます</p>		
	 <p>竹竿は地域の竹林から切り出したものです</p>		 <p>地域の皆さんのおかげです</p>		
活動の成果	<p>地域の方が協力して作業することで、地域交流の機会を創出するとともに、呉ポートピアパークに来園する多数の親子連れの語らいの場を設けることで、日本の伝統文化に触れる機会も提供した。</p>				


番号	45	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	天応町納涼盆踊り大会			事業費	約380,000円
事業の目的	<p>天応町は、春は「鯉のぼりの吹き流し」や冬には「笹酒まつりともちつき大会」という代表的なイベントがあるが夏はこれと言ったイベントがなかったため、平成23年に地域の皆さんの熱意で復活した「天応町納涼盆踊り大会」を令和元年も呉ポートピアパークで実施した。</p> <p>今回も約75発の花火を打ち上げ、天応町民やお盆に帰省された方など約700人の参加者で賑わい、盆踊りを通して町民同士のふれあいが深まり、地域の連帯感や絆を再確認するとともに、盆踊りを次世代に引き継いでいく文化の継承を図る。</p>				
事業概要	<p>日時：令和元年8月10日（土）17時～21時 場所：呉ポートピアパーク イベント広場 内容：盆踊り（呉音頭、地音頭、炭坑節） 模擬店（焼き鳥、フランクフルト、おむすび、枝豆、かき氷、たこ焼き、焼きそば、からあげ、生ビール、ソフトドリンク、くじなど） アトラクション（「和ロック」演奏） 打ち上げ花火（75発）</p>				
企画・実施した人	<p>天応町納涼盆踊り大会実行委員会が中心となって企画立案するとともに、まちづくり委員会のメンバーである自治会、女性会、体育協会や呉ポートピアパーク友の会、実行委員会が協働して各ブースの設営、運営に当たった。</p>				
苦労した点	<p>昨年は7月豪雨災害により中止したが、本年は、盆踊り大会を継続的に実施し、盛り上げて行くために各自治会から実行委員を2名出してもらったり、盆踊りを次世代に継承するため、子どもに参加してもらえるよう、小学校で盆踊りの練習に取り組んでもらったりと工夫を重ねた。また、別途地音頭の継承のためにDVDの作成を行うなかで、地元の熟練者に指導してもらおう機会を作った。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>盆踊りアトラクション</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>盆踊りに参加する地域住民</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>模擬店の様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>盆踊りを彩る花火</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>盆踊りを通して町民同士のふれあいが深まり、地域の連帯感や絆を再確認するとともに、盆踊りを次世代に引き継いでいく文化の継承に寄与した。</p>				

番号	46	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	天応地区復興イベント			事業費	約285,000円
事業の目的	平成30年7月の西日本豪雨で甚大な被害を受けた天応地区として、災害復旧から本格的な復興段階へと歩みを進め、まちの活気を取り戻したいという天応住民の熱い思いを内外に発信する機会とした。				
事業概要	日時：令和元年11月23日（土・祝）10時～16時 場所：呉ポートピアパーク 多目的ホール イベント広場、外 内容：記念式典 天応未来図作成プロジェクト絵画披露（天応中学校2年生・こだまこずえ） 二胡演奏会（ジャン ショウ・イエン） 講演会（勝丸 恭子） 野外ステージイベント キッチンカー 呉海自カレーの販売 など				
企画・実施した人	天応まちづくり委員会の四役会議において企画立案するとともに、事業の一部を委託し、さらに呉ポートピアパーク友の会の協力を得て、式典会場などの設営や運営を行った。 記念式典では、子どもまちづくり事業により天応中学校2年生が卒業生のアーティストこだまこずえさんとともに復旧・復興を願って作成した「天応未来図」を披露した。				
苦労した点	記念式典は、予定していた人数よりも参加者がかなり多かったため、準備した席を途中で増やしたが足りず、立ち見であふれていた。				
活動状況	 <p>記念式典・天応未来図披露</p>		 <p>二胡演奏会</p>		
	 <p>講演会</p>		 <p>野外ステージイベント</p>		
活動の成果	参加された住民の中には、仮設住宅の方もおられたが、天応未来図を見て希望を持つことができると話されていた。「いのちを守る気象情報にするために」と題した講演も、参加者の注意喚起を促す機会となった。				





番号	47	団体名	天応地区社会福祉協議会	代表者	友井 輝道
事業名	「笹酒まつり」と「もちつき大会」			事業費	約311,000円
事業の目的	<p>笹酒まつりともちつき大会は、昭和54年からはじまった天応を代表する恒例行事である。</p> <p>青竹に含まれているクロロフィルは、制ガン効果があるといわれており、天応町民と来場される皆さんに笹酒を飲んでもらい、この一年の無病息災を祈るとともに、新成人の成長を祝い、今後の活躍を願うことを目的として開催した。</p>				
事業概要	<p>日時：令和2年1月13日（月・祝）10時30分～12時頃 ※成人式は10時～10時30分 場所：呉ポートピアパーク イベント広場，外 内容：式典（成人式），新成人代表によるあいさつ（地域の方々へのお礼他），ソーラン踊り（小・中学生），振舞酒，もちつき，ぜんざい配膳，懇親会（卒業時の恩師）</p> <p>※お酒を青竹で温めて、晴れ着姿の新成人が来場者約1,000人に振る舞い、さらにもちつきをして、新成人の門出を祝いました。</p> <p>※笹酒を飲んで1年の無病息災を願うこのイベントは今回で42回目を数え、今や天応地区の年始の風物詩となっています。</p>				
企画・実施した人	<p>天応地区社会福祉協議会の四役会議において企画立案するとともに、前々日及び当日の準備において、天応地区の各種団体の代表者（各会場の責任者）が役割分担を再確認し、笹酒振る舞い会場、もちつき会場及び懇親会場などの設営や運営を行った。新成人も懇親会の司会・進行を行った。</p> <p>また、イベントには小・中学校生も参加し、まさに町をあげてのイベントとなっている。</p>				
苦労した点	<p>本年は、新成人に企画立案に協力を依頼し、懇親会の進行を任せることができた。竹の採取や加工などには少数ながらも若手の参加があり、次年度以降にむけて技術の伝承ができた。</p>				
活動状況	 <p>山から切り出した竹を加工</p>		 <p>ソーラン踊り</p>		
	 <p>新成人からの振舞酒</p>		 <p>もちつき大会</p>		
活動の成果	<p>小さな子どもからお年寄りまで幅広い世代の地区住民が集まり、町を挙げて行う行事であるが、小・中学生を含め地域の方々の協力により行事がおこなわれていることを新成人も実感し、感謝の意を示しており、まちづくり行事への理解が深まった。</p>				





番号	48	団体名	昭和地区ふれあいフェスティバル実行委員会	代表者	曾根 誠二
事業名	第14回 昭和地区ふれあいフェスティバル			事業費	1,376,000円
事業の目的	子どもや家族が楽しい体験をとおして地域の方々との触れ合いを深め、昭和地区の輪を広げるとともに、子どもの健やかな成長を願う。				
事業概要	<p>日 時：平成31年4月28日（日） 9時～15時 場 所：昭和市场センター 及び 昭和まちづくりセンター テーマ：みんなでづくり みんな楽しい 手作りイベント ～「おいしい」「たのしい」「なつかしい」がいっぱい～</p> <p>おいしい：郷土料理「八寸」、焼山うどん、綿菓子、ポップコーン、から揚げ、カレーライス、餅とぜんざい、カフェ、有機野菜、かき氷、焼きそば、おむすび、フランクフルト等</p> <p>たのしい：昭和北中吹奏楽部の演奏、メープルカイザーショー、スタンプラリー、福祉施設作品の販売、写生大会、もちつき体験、放水体験、輪投げ、スピードガン体験、エレクトーンコンサート、大声コンテスト、白バイ試乗、「きよみん」とのふれあい等</p> <p>なつかしい：昭和の駄菓子、ヨーヨーつり、絵本会、おはじき、プラトンボ作り、折紙、琴、尺八、フラダンス、藤井清水を歌い昔の遊びを楽しもう、唱歌や童謡を歌う等</p> <p>参加者：延べ約13,000人</p>				
企画・実施した人	昭和地区まちづくり協議会をはじめとする地域の諸団体で「ふれあいフェスティバル実行委員会」を結成し、企画段階からイベント実施までを行った。				
苦労した点	駐車場がないため、焼山公園⇄昭和市场センターのシャトルバスを15分間隔で運行するも、近隣より若干の苦情があった。 イス、机の数が不足しているため、各ブースへの配分調整に苦労した。				
活動状況	 <p>放水体験</p>		 <p>昭和北中吹奏楽部演奏</p>		
	 <p>大人も子どももワクワク！</p>		 <p>竹馬、チャレンジ！！</p>		
活動の成果	各団体が、来場者を楽しませるために企画し準備し当日を迎える。自らもその過程を楽しみ、次年度に繋げようとしている。 呉昭和高校の生徒がPTAやOBと団結し、ボランティアで、地域の子供から高齢者などさまざまな人と交流している姿が輝いていた。				

番号	49	団体名	NPO法人 昭和地区まちづくり協議会	代表者	神田 晃典
事業名	きよみんのもち米づくり			事業費	122,000円
事業の目的	<p>休耕田を利用したもち米作りの一連の作業を、地域の子ども達を中心に住民が体験できる事業。 体験を通して食物への感謝の気持ちを持ち、昭和地区の三世代交流、仲間づくりを目的とする。 将来的に地域リーダーを養成できる行事になることを目指す。</p>				
事業概要	<p>日時： 2月～4月 土壌づくり（肥料・農薬・耕作・水張など） 5月19日（日）田植えイベント 6月～9月 水管理・稲見守り・除草など 10月 5日（土）稲刈りイベント（稲刈り・結束・ハゼかけ・落穂拾い） ～12月 乾燥・脱穀・もみすり等 12月15日（日）餅つき大会（収穫祭）イベント 場所：焼山東区自治会館，焼山東区自治会館隣接の田んぼ テーマ：みんなで育てて食べようや！ 内容：きよみんが登場する紙芝居でもち米作りの説明，米作り名人が昔の農具，米作りの大変さなどを教えてくださる。一年を通して子ども達が実際に田植え・稲刈り・結束・ハゼかけ・餅つきなどを体験しました。</p>				
企画・実施した人	<p>主催：NPO法人 昭和地区まちづくり協議会 協力：地元の米作り名人，きよみんキッズサークル</p>				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・もち米の生育や天候など，自然に左右されることが多い事 ・イベント当日の暑さ寒さ対策など参加者への対応，衛生管理への配慮 				
活動状況	<p style="text-align: center;">田植え体験 稲刈り体験 お餅つき大会</p> 				
活動の成果	<p>土づくりからの一連の流れを実際に体験することにより，普段は味わえない泥の感触や稲の重み，自分たちが携わったもち米を味わい，地域の子ども達の食育となる体験になった。 体験を通して三世代交流の場になった。</p>				

番号	50	団体名	成人の日記念式典実行委員会	代表者	神田 晃典
事業名	令和元年昭和地区「成人の日」記念式典・記念行事			事業費	700,000円
事業の目的	地域をあげ、地区在住の新成人を祝福・激励するための式典・行事を開催。				
事業概要	日時：令和2年1月13日(月・祝) 13時30分～15時 場所：昭和市场センター 内容：司会進行(呉昭和高校の生徒) 国歌・呉市歌斉唱(呉市藤井清水の会) 音楽の贈り物(昭和中学校吹奏楽部) 郷土料理「八寸」試食会(昭和西女性会) ぜんざいのおもてなし(昭和東女性会) 手作りクッキー(昭和地区しょうがい児者福祉事業者連絡協議会) 新成人出席者：273人(対象の82%)				
企画・実施した人	主催：昭和地区自治会連合会と昭和地区まちづくり協議会、呉市、呉市教育委員会 協力：昭和西女性会、昭和東女性会、第19区・21区民生委員児童委員協議会、 呉市藤井清水の会、呉市消防団昭和分団、昭和中学校吹奏楽部、呉昭和高校 協賛：(株)ますやみそ、(株)白王、(株)広島中央ヤクルト販売、 (社)きぼう、居食屋 わだち				
苦労した点	地域、企業、行政の3者が協働し成人式を開催。 新成人にとって心に残る式となるように、プログラム等の変更を計画・実行した。 このため各協力団体や、学校との連絡、調整に時間を要した。				
活動状況					
活動の成果	新成人が式に参加することで、大人になった自覚を促すと共に、旧友との再会や恩師と交流することで、有意義な時間を過ごしてもらうことが出来た。 また、それを見守る保護者には、子どもの成長を見届ける機会になったり、各団体が協力して式を運営することで絆も深まった。				

番号	51	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	ふれあい・いきいきサロン			事業費	80,000円
事業の目的	高齢者が家庭や地域の中で孤立しないように、地域の人たちが定期的にまちづくりセンターに集い、高齢者が健康でいきいきとした生活が送れるよう地域全体で見守り支援する。				
事業概要	<p>平成21年度より70歳以上の高齢者を対象に月に1回開催。 時間：10時～14時 内容：午前中は、サロンの歌、今月の歌、お誕生会、健康体操、各種趣味講座等を実施。昼食をはさんで午後からはステージイベント等を楽しむ。 特徴：地元の小・中学校や保育所と連携し、世代間交流を定期的実施。 医療機関や警察・交通安全協会、消防署等の協力により講演会や生活安全指導を実施。また、昨年の災害を経験したことで、日頃の備えや、自分の身を守る研修を行い、高齢者に限らず自分のこととしての心構えを身につけた。 参加者は、現在150人（うち協力員50人）が参加する市内最大のサロンとして毎月のサロンを継続している。</p>				
企画・実施した人	サロン運営委員会（地元自治連、民児協、女性会、運動推進の運営委員と各自治会から推薦された協力員の代表で組織）				
苦労した点	<p>高齢者のサロン参加（外出支援）を地域全体に広げるため、各自治会組織の協力員の組織化と地域リーダーの養成。 年度終りに翌年一年間の活動計画を運営会議により決定しているが、参加者を飽きさせない内容になるよう知恵を出し合っている。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>お誕生日会での花束と写真を贈呈</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>腹話術</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>交通安全教室</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>防災講習会</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>毎月行われるこのサロンは、郷原全地区の方々を対象となっているため、近所の方との交流のみにとどまらず、日頃会話をすることのない人たちと交流を密にすることにより、他愛のない会話から健康の意識度を高めたり、孤独感を感じる方などは、安心感を得ることができるなど、おたがいに理解しあいつつ心に寄り添い、楽しく、時には体を動かし、生きがいを感じることができている憩いの場となっている。</p>				

番号	52	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	郷原町盆踊り大会			事業費	850,000円
事業の目的	地域住民の絆を深め、大会を通して町文化の次世代への継承を図る。				
事業概要	<p>町民運動会と隔年での開催。 日時：令和元年8月12日（月・振替休日） 18時30分～ 場所：郷原小学校 グラウンド 内容：盆踊りでは、地元の方が作詞・作曲した「郷原音頭」や「にがた」「なかはた」の生歌での踊りと、花火・和☆Rockの共奏、カラオケ大会、お楽しみ抽選会等で、1,000人以上が参加する町内最大のイベント。 また、城山の「火の用心」ライトアップの点灯式を同時に開催した。</p>				
企画・実施した人	郷原町盆踊り実行委員会（まちづくり推進委員を中心とした組織）				
苦労した点	来場者の安全対策や駐車場確保などに配慮が必要とされた。また、今年度は、新しく花火大会やシークレットイベントとして、城山のライトアップ企画を盛り込んだため、プログラム構成や「やぐら」の位置決めなどの調整に苦慮した。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>盆踊り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>カラオケ大会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>お楽しみ抽選会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>花火大会</p> </div> </div>				
活動の成果	郷原町の盆踊り大会は、交流の促進や親睦を深めることを目的とし、多くの地域住民に参加してもらい、関心を持ってもらうことにより、自治会活動への理解を深め、コミュニケーションの場とすることができた。				



番号	53	団体名	下蒲刈町まちづくり協議会	代表者	渡辺 哲宏
事業名	第2回下蒲刈地区グラウンドゴルフ大会			事業費	約100,000円
事業の目的	下蒲刈在住または下蒲刈への勤務者を対象として、ルールが簡単で誰でもできるグラウンドゴルフを通じて地域内の交流を図り絆を深めることを目的に実施。				
事業概要	<p>日時：令和元年9月29日（日）9時～12時</p> <p>場所：大津泊緑地（下蒲刈町塩浜新開）</p> <p>内容：1チーム5～8名，1ラウンド8ホールとし2ラウンドで実施</p> <p>表彰：団体戦（地区対抗部門・一般部門），個人戦（男女），特別賞，ホールインワン賞</p> <p>参加者：78名（13チーム）</p>				
企画・実施した人	喜楽会（下蒲刈体育協会グラウンドゴルフ部），下蒲刈町まちづくり協議会，地域おこし協力隊員				
苦労した点					
活動状況					
	開会式（競技説明）		競技		
					
	競技		閉会式（表彰）		
活動の成果	グラウンドゴルフを通じて、健康づくりの推進及び地域内の交流を深めることができた。				





番号	54	団体名	下蒲刈地区自治会連合会	代表者	原田 敏信
事業名	令和元年度呉市下蒲刈地区成人式			事業費	約180,000円
事業の目的	地域をあげて新成人を祝福するとともに、新成人自身の地域を担う自負と地域社会の一員としての自覚を促すため式典、茶会及びはたちの同窓会を開催する				
事業概要	日時：令和2年1月12日（日）13時30分～16時 会場：蘭島閣美術館（式典・はたちの同窓会）、白雪楼（茶会） 内容：式典（はたちの誓い、近況報告） 記念写真撮影 茶会（新成人及び恩師） はたちの同窓会（新成人及び恩師）				
企画・実施した人	下蒲刈地区自治会連合会				
苦勞した点	今回、式典会場を蘭島閣美術館に変更したため、会場設営に必要な物の検討及びその準備に苦勞した。				
活動状況					
	式典（主催者挨拶）		記念写真撮影		
					
	はたちの同窓会		プログラム（写真：蘭島閣美術館・白雪楼）		
活動の成果	成人式を通じて、世代間の交流を推進することができた。				





番号	55	団体名	呉市川尻町まちづくり委員会	代表者	隠村誠二
事業名	いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAPウォーク		事業費	14,000円	
事業の目的	平成25年度に「“かわじり”の新しいMAPを作ろう!!プロジェクト」で作成した「いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAP」のコースを歩くことによって、人と人がふれあう元気なまちづくりを目指す。(年2回程度)				
事業概要	<p>【令和元年度】</p> <p>6月 9日(日) 9時~12時 合格祈願ロードコースを歩こう 7km 参加者:71名</p> <p>10月13日(日) 9時~11時30分 縁結びめぐりストーリーコースを歩こう 5km 参加者:44名</p>				
企画・実施した人	呉市川尻町まちづくり委員会, 川尻地区自治会連合会, 川尻町運動普及推進員会, 川尻町保健出張所, 川尻中学校				
苦労した点	関係団体との連絡調整				
活動状況					
活動の成果	毎年、運動普及推進員のメンバーや多くの中学生ボランティアが参加することによって世代間交流を図るとともに、地域の歴史・文化に触れることができた。				





番号	56	団体名	川尻町地区社会福祉協議会	代表者	隠村誠二
事業名	川尻町敬老会			事業費	1,155,000円
事業の目的	<p>各種団体との協働の幅を少しずつ増やしながら、敬老者の皆さんに敬意を表し、長寿のお祝いを目的として開催している。</p> <p>H20年度～：敬老会打合会開催・リハーサル協力依頼（主催者のみ） H21年度～：敬老会打合会開催・リハーサル協力依頼（運営協力団体・主催者） なお、当初から司会、交通整理や運営協力（主催者含む）との協働も継続中である。</p>				
事業概要	<p>【敬老会打合会】令和元年8月28日（水） 18時～19時 各協力団体の役割分担の確認と当日の流れを確認を行った。</p> <p>【リハーサル・準備】令和元年9月13日（金） 9時～14時 リハーサルでは、司会を担当する朗読ボランティアが、アトラクション出演者と打合せをしながら直前までシナリオを練り、裏方を担当する主催者は舞台転換の確認を行い、本番に備えた。</p> <p>【敬老会当日】令和元年9月16日（月・祝） 9時～12時 （敬老者：1,476人）</p> <p>場 所：呉市川尻まちづくりセンター（バイノロホール） 内 容：第1部 式典（司会：朗読ボランティア ハートフル） 第2部 アトラクション（司会：朗読ボランティア ハートフル） ①合唱（川尻光幼稚園） ②太鼓演奏（認定こども園かがやき） ③合唱（川尻小学校4年生） ④神楽（伊賀和志神楽団）</p>				
企画・実施した人	<p>川尻町地区社会福祉協議会 協力団体：ボランティアさざなみ、呉市第23区民生委員児童委員協議会、 広交通安全協会川尻支部、同母の会、川尻地区老人クラブ連合会 アトラクション：川尻光幼稚園、認定こども園かがやき、川尻小学校、 伊賀和志神楽団 司会：朗読ボランティア ハートフル</p>				
苦労した点	<p>各種団体との連絡調整や敬老者に喜んでいただくための記念品やアトラクションの内容</p>				
活動状況					
活動の成果	<p>平成20年度から取り入れた「打合会」や「リハーサルからの協力依頼」は継続していることで定着しつつあり、各団体が協力して敬老会を盛り上げようとする気運に繋がっている。</p>				





番号	57	団体名	川尻町地区社会福祉協議会	代表者	隠村誠二
事業名	川尻町新成人を祝う会			事業費	292,000円
事業の目的	<p>新成人が企画・運営を担い始めて10年目となる「実行委員会」の活動は、地域全体で祝う「新成人を祝う会」の開催に向けて、中学生から地域の方々まで世代を超えて開催を支えている。</p> <p>【実行委員会の主な活動内容】 ①懇親会の企画立案 ②当日運営（新成人受付・式典司会・懇親会の司会運営）</p>				
事業概要	<p>【実行委員会】 第1回 8月16日(金) 昨年度の祝う会の様子, 今後のスケジュール 第2回 11月8日(金) 企画書の説明, 役割分担 準備 1月10日(金) 式典・懇親会会場準備</p> <p>【当日】 1月12日(日) 9時30分～ 打合せ・受付準備(事務局・実行委員・中学生ボランティア) 10時～ 受付(実行委員・中学生ボランティア) 10時30分～ 記念撮影 10時50分～ 式典{主催者挨拶, 来賓挨拶, はたちの誓い} 11時40分～ 懇親会{恩師エピソード紹介, 抽選会} 13時～ 後片付け(事務局・実行委員・中学生ボランティア)</p>				
企画・実施した人	実行委員(前年度成人者・新成人者・次年度成人者・新成人保護者・地区社協代表者・市民センター担当者)				
苦勞した点	実行委員会は新成人の内, 中学校当時の生徒会役員を中心に活動を行うが, 学生等で市外在住者が多いため, 実行委員会結成にあたっての連絡や祝う会の企画・準備の調整に時間を要した。				
活動状況	   				
活動の成果	「新成人を祝う会」の企画立案や当日の準備・運営に次年度新成人対象者や中学生ボランティアが関わることで, 次年度以降の実行委員会の活動に繋げていくことができた。				





番号	58	団体名	川尻町元気まつり実行委員会	代表者	森川 泰博
事業名	かわじり元気まつり			事業費	2,500,000円
事業の目的	<p>2000年に安芸灘大橋有料道路が開通したことをきっかけに、川尻町内外に「かわじり」をアピールして、川尻町の魅力をさらに向上させたり、活性化につなげるために始まった元気まつりは、毎年11月の第3日曜日に開催し、毎年約5,000人で賑わう。</p> <p>開催までに、実行委員会・企画部会（合計7回）、バザー部会を重ね、各種団体をはじめ多くの関係者が一丸となって準備を行う。中学生も前日の準備や当日運営にボランティアとして加わり、共に、まつりを支えている。</p>				
事業概要	<p>「みんなが集い みんなで創り みんなが楽しむ！」 日時：令和元年11月17日（日）9時～15時30分 場所：川尻グラウンド 【オープニング】野呂岩海太鼓（野呂岩海太鼓保存会） 【メインステージ】筆のパフォーマンス（広高校書道部） ひびけ！野呂太鼓（川尻小学校6年生） パワー全開！！夏疾風（川尻光幼稚園） 元気いっぱい！！かがやきっこ（認定こども園かがやき） 川尻優秀農産物発表・かわちゅうプラス（川尻中学校吹奏楽部） ラムネ早飲み大会・中西 圭三スペシャルライブ かわじりモノ尻○×クイズ・ラッキーナンバーゲーム他 【わくわくイベント】ミニSL・ふわふわパンダ・スカイビュー・呉氏すべり台他 【食の元気市】焼きいりこやイノシシの串焼きなど広域8町の特産品を楽しめる。</p>				
企画・実施した人	川尻町元気まつり実行委員会・川尻町まちづくり委員会・協賛企業				
苦労した点	毎年、マンネリ化しないよう新企画を何にするか、それに伴う財源とスタッフ、会場の駐車場確保が必要となる。				
活動状況	   				
活動の成果	<p>今年度は、来場者が約6,200人で例年に比べ多かった。</p> <p>中西 圭三さんスペシャルライブの時、園児及び先生も一緒にNHK「おかあさんといっしょ」の体操曲を踊ることによって、ステージが大いに盛り上がった。</p> <p>ステージ以外でも、呉氏すべり台や自動車レースVR体験機器を設置して楽しんでもらった。</p>				



番号	59	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	新谷 勝利
事業名	2019おんどフェスティバル			事業費	3,380,000円
事業の目的	<p>市民が心から喜び、楽しめるイベントを開催し、ふれあいと活力のあるまちづくりに資することを目的とする。</p> <p>旧音戸町時代に、大浦崎スポーツセンター（当時はマリンふれあいの里大浦崎公園）の完成を契機として、当事業が開催されることとなり、合併以降は音戸町まちづくり協議会が引き継いで開催している。</p> <p>令和元年度で34回目となった。</p>				
事業概要	<p>毎年、町内外から多数の来場者があり、音戸町で最大規模のイベントとなっている。</p> <p>日時：令和元年11月10日（日） 9時30分～15時</p> <p>場所：大浦崎スポーツセンター</p> <p>内容：ステージ企画 音戸清盛太鼓、消防団はしご隊演技、元カープ選手トークショー、 ○×クイズ大会、防犯大声絶叫大会、呉氏及び呉氏J rダンスショー、 お楽しみ抽選会、餅まき等</p> <p>会場企画 約20店舗による飲食物等の出店、消防車両展示、白バイ等体験搭乗 音戸高校カヌー部によるカヌー体験教室、ふわふわドーム ウォーキング大会、少年ソフトボール大会</p>				
企画・実施した人	音戸町まちづくり協議会の役員及び事務局、協議会構成団体（自治会、女性会、老人クラブ、民生児童委員、PTA連合会、商工会他）、音戸高校生徒によるボランティア				
苦労した点	ステージ企画の出演団体を募集した際、当初募集していた企画を一部断念せざるを得なくなり、新たな企画の立案及び団体募集に苦労した。				
活動状況	 <p>達川光男氏によるトークショー</p>		 <p>防犯大声絶叫大会</p>		
	 <p>各種模擬店</p>		 <p>清盛太鼓保存会による和太鼓の披露</p>		
活動の成果	地域の各種団体だけでなく、音戸町の様々な人が参加し、交流することができた。音戸町で最大規模のイベントであり、来場者数も他のイベントと比べて最も多い。				


番号	60	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	新谷 勝利
事業名	音戸ふれあい朝市			事業費	880,000円
事業の目的	住民同士のふれあいや、三世代が楽しく交流できる場を提供するとともに、町内にぎわいづくりと地域活性化、地産地消による食の推進を図るため、平成20年10月に第1回目を開催し、以降毎月1回、原則第1土曜日にふれあい広場（旧音戸町役場跡地）で開催している。				
事業概要	<p>日時：原則毎月第1土曜日 10時～11時頃</p> <p>場所：ふれあい広場（旧音戸町役場跡地）</p> <p>内容：地元でとれた新鮮野菜や、タコ天、炊き込みご飯や細うどんなどの販売の他、プロ野球観戦券などが当たるお楽しみ抽選会や、保育園園児や小中学校生徒による歌や踊りの披露なども実施している。</p>				
企画・実施した人	音戸町まちづくり協議会の役員及び事務局，協議会構成団体（自治会，女性会，老人クラブ，民生児童委員他），音戸中学校生徒によるボランティア				
苦労した点	出店内容やイベントがマンネリ化しており，来客数が減少してきている。				
活動状況	 <p>地元保育園園児による和太鼓の披露</p>		 <p>10月に実施の第二の成人者を祝う会</p>		
	 <p>お楽しみ抽選会</p>		 <p>各種模擬店</p>		
活動の成果	保育園園児をはじめとした，子供と地域住民の交流の場になっている。また，音戸中学校生徒によるボランティアが当日の運営補助を担っているなど，幅広い世代が参加するイベントになっている。				

番号	61	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会 (お宝朝市部会)	代表者	中田 正志
事業名	くらはしお宝朝市			事業費	198,503円
事業の目的	新鮮で良質な農水産物をはじめとする倉橋町の特産品を販売することで、地元の農業・漁業・商業の振興を図るとともに倉橋町の活性化を目的とする。				
事業概要	<p>日時：毎月最終日曜日 8時～11時頃 場所：倉橋桂浜温泉館万葉の里駐車場 内容：①地元特産品の販売 野菜・果物・鮮魚・ちりめん・牡蠣・コーヒー・パン等 ②お楽しみイベント お買い物スタンプラリー（毎月） とん汁無料サービス（4月，11月，1月） 勝ち抜きじゃんけん大会（5月），かけそうめん無料サービス（5月） スイカ割り大会（7月，8月），焼きイモ販売（10月～3月） 10周年記念事業（特製トートバッグの無料配布，11月） 紅白もちの無料配布（12月），ちりめんのつかみ取り（12月） ぜんざい無料サービス（12月） パスタの無料試食会（1月）</p>				
企画・実施した人	漁協，商工会等の団体と地元の特産品販売店が中心となって企画し，市職員が協働で実施する。				
苦労した点	①悪天候が予想される場合の中止の判断 ②集客方法				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>会場内</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>スイカ割り大会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>特製トートバッグ無料配布</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>紅白もち無料配布</p> </div> </div>				
活動の成果	倉橋町の特産物を，町内外へPRできた。				


番号	62	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会 (お宝婚活部会)	代表者	松村 慶介
事業名	第7回島コンinくらはし (広島県最南端で見つける恋)			事業費	369,093円
事業の目的	人口減少や少子高齢化の一因とされる未婚者の増加に歯止めをかけるために、未婚男女に幅広い出会いの場を提供する。				
事業概要	<p>日時：令和元年10月27日(日) 9時～17時 場所：マリン倶楽部カープポート 参加条件：25歳～45歳の独身男女(学生は除く) 募集人数：男女各20名 参加費：男性5,000円、女性3,000円 内容：男性20名、女性16名の計36名がローテーショントーク、BBQ、フリータイム、グループトークを通じて交流し、5組のカップル(うち倉橋町の参加者が2名)が誕生した。</p> <p>参加者居住地内訳 ・男性：倉橋町7名、呉市(倉橋町除く)9名、その他4名 ・女性：呉市4名、その他12名</p> <p>参加者年代内訳 ・男性：20代7名、30代9名、40代4名 ・女性：20代3名、30代11名、40代2名</p>				
企画・実施した人	地元で農業・漁業・医療関係等に従事する若者が中心となって設立したお宝婚活部会が企画・立案し、まちづくりサポーター、まち協委員、市職員が協働して開催した。				
苦勞した点	女性参加者の確保				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>あいさつする松村部会長 (右は司会進行の松本裕見子さん)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ローテーショントーク</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>BBQコーナー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>グループトーク</p> </div> </div>				
活動の成果	婚活イベントの最大の成果は、“誕生したカップルが結婚までいった”ということであるが、今回はまだ結果が出ていない。 ※これまで6回行われた島コンにおいて誕生したカップルのうち、2組が結婚している。				





番号	63	団体名	蒲刈地区自治会連合会	代表者	谷村 浄
事業名	令和元年度蒲刈地区成人式			事業費	188,440円
事業の目的	満20歳となる方を対象に激励・祝福行う。				
事業概要	<p>日時：令和2年1月12日（日） 10時～ 場所：蒲刈市民センター 内容：式典 （開式の辞、国歌斉唱、主催者挨拶、来賓祝辞、成人者紹介、記念品贈呈、二十歳の誓い、呉市歌斉唱） 記念講演（講師 呉市議会議員 田中 みわ子 演題 「はじまり～彩」） 記念撮影 記念植樹（県民の浜に河津桜を植栽した） 司会：まちづくりサポーター</p>				
企画・実施した人	蒲刈地区自治会				
苦労した点	特になし				
活動状況	   				
活動の成果	恩師や保護者も参加し共に祝福され、穏やかな雰囲気の中で開催した。				

番号	64	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	田中敏弘
事業名	平成30年7月豪雨災害記念碑建立事業			事業費	636,000円
事業の目的	平成30年7月の豪雨災害により尊い命や多くの甚大な被害を受けた。その後1年経った7月に犠牲になられた方々への哀悼の意を表すとともに、この大災害を記憶に留め後世に語り継いでいくために記念碑を建立する。				
事業概要	<p>石碑の建立目的を災害記録とするか、後世への警鐘とするかを明確にするために、碑文の内容について、何度も検討会を行った。</p> <p>また、石碑は土石流で崩れた石を使用するため、災害地や土石置場で石を探した。その石碑を、安浦まちづくりセンター敷地内に設置するため、土台となる基礎をしたり、植栽や土砂の撤去を行った。</p> <p>更に、石碑が倒れないようにコンクリートの土台作りは素人ばかりであったが、生コン業者に指導を受けて設置する。</p> <p>完成後、除幕式を令和元年7月31日（水）に開催し、市長、自治会長及び中学生など多くの出席をいただいた。</p>				
企画・実施した人	安浦町まちづくり協議会 事業企画部				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建立目的を、災害の被害状況を伝えるか、後世に自然の恐ろしさを警鐘し、避難行動へ繋がるものにするかと様々な意見をまとめること。 ・ 特に、被災が大きかった市原・中畑・下垣内地区への建立とするか、防災教育のため中学校敷地内への建立とするかなど意見が出たが、中学校も学習でき、多くの住民が利用し、隣接する安浦まちづくりセンターへ建立を決定した。 ・ 記念碑の材料となる石を、災害箇所や土石置き場で探して、適当な石を見つけてカットすると、「ひび」が入っているなど石探しに手間どったこと。 				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>作業風景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>記念碑</p> </div> </div>				
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度同時に実施した「平成30年7月安浦町豪雨災害の記録」写真集と併せて、小中学校の防災学習の教材となる。 ・ 住民の防災意識の向上と、避難の重要性の再確認へと繋がる。 				





番号	65	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	田中敏弘
事業名	「平成30年7月 安浦町豪雨災害の記録」写真集作成事業			事業費	650,000円
事業の目的	平成30年7月の豪雨災害により、尊い命や多くの甚大な被害を受けた安浦町の記録と記憶に留め、後世に語り継いでいくために写真集を作成する。				
事業概要	<p>写真集は、写真編と災害関係資料編にすることは決めていたが、内容そのものは提供される写真次第であるため、とにかく写真を集めるために、地区自治会定例会で事業協力と提供の依頼をしたり、当協議会が発行する情報誌「タント」で提供を募るなど様々な方面に依頼をする。</p> <p>取組の結果多くの写真が集まったので、様々な構成・表現ができることになったが、最終的には、写真編は地区別の「災害記録」と、安浦町がお世話になった方々への感謝の意を表すための「災害支援の記録」に整理する。</p> <p>次に、写真の選定にあたっては、数名である程度絞って地区毎に模造紙に貼り付け20名程の者で絞り、更に同様に絞る。三段階での選定後、情報編集を併せたサンプルをつくり最終確認をして完成する。</p> <p>その写真集は学校、自治会、支援を頂いた各機関及び希望者（一世帯）に配布する。</p>				
企画・実施した人	安浦町まちづくり協議会 事業企画部				
苦労した点	写真集を編集できるほどの写真の提供が不確実であったこと。				
活動状況					
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの写真集の希望者があった。 ・学校でも防災教育で活用される。 				







番号	66	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	ビューティフルアイランド祭り			事業費	1,342,829円
事業の目的	だれもが健康でいきいきと暮らすことのできる健康づくりや世代間交流を行うため、子どもから高齢者まで気軽に参加できる「ウォーキング大会」を中心に開催するとともに、町外の方にも広く参加を呼びかけ、祭りに参加していただくことで豊浜町の良さ（島の香り・味・自然）のPRを行うことを目的とします。				
事業概要	<p>子どもから高齢者までが気楽に参加できる「ウォーキング大会」や「体力測定」のほか、各種団体の模擬店や特産品の販売、防災・防犯コーナーなどを設け行います。また、特設ステージでは音楽グループ等の演奏が、体育館では文化団体の成果発表が行われます。各種団体の協力のもと、6つの柱を組み合わせると笑顔あふれるイベントを実施します。</p> <p>日時・場所：令和元年10月19日（土） 親水公園・豊浜中学校 参加者人数：体力づくり（ウォーキング大会）116名 生活環境づくり（プランターコンテスト）18名 安全・安心づくり（防犯・防災コーナー）2団体 健康づくり（体力測定・健康チェック）144名 人づくり（イベント交流・露店）15団体 文化活動づくり（作品の展示）7団体</p>				
企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会				
苦労した点	準備日や当日は、小雨で決行したので、テント等の設置や片付けで不測の日数がかかり苦労しました。 天候しだいでは用意した材料などがむだになる可能性があります。				
活動状況	体力づくり （ウォーキング大会）		生活環境づくり （プランターコンテスト）		
	人づくり （イベント交流・露店）		健康づくり （体力測定・健康チェック）		
	安全・安心づくり （防犯・防災コーナー）		文化活動づくり （作品の展示）		
活動の成果	豊浜町まちづくり協議会が開催する事業の中でも力を入れている祭りですので、小雨でも開催しましたが、地域住民や地域外の参加者など多くの方に参加・協力してもらい、イベントが盛り上がり豊浜町のPRができました。 町民の楽しみでもあるビューティフルアイランド祭りを今後とも続けられるよう活動していきます。				

番号	67	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	伝統的料理の教室			事業費	21,193円
事業の目的	<p>高齢化の進行に伴い、冠婚葬祭等での料理も手作りすることが難しく、仕出しを取るようになり、豊浜町の食材を使った伝統的な料理も作られなくなってきています。このため、豊浜町の伝統的な料理（食文化）が消えていくのではという危機感から、これらを記録し、後世に伝承していくことを目的とします。</p>				
事業概要	<p>豊浜町内の各地区に残る伝統的料理について、「豊浜町の伝統的料理」の冊子を作成した中で、伝統的料理を伝えるため、地元の住民の指導のもと、豊浜中学校の2年生を対象に伝統的料理の教室を開催します。 開催日：令和元年12月16日（月） 参加人数：中学校2年生7名、地元関係者5名 メニュー：タコ飯、鯛ソーメン、ひじきの煮物、イカ飯（アオリイカ）</p>				
企画・実施した人	<p>豊浜町まちづくり協議会のワーキンググループのメンバー 豊浜町地域住民</p>				
苦労した点	<p>学校の授業時間内で料理して、試食をしなければならないので時間配分に苦労することに加えて、季節によって手に入らない食材があり料理メニューが限られます。</p>				
活動状況	<p style="text-align: center;">伝統的料理教室</p> 				
活動の成果	<p>家庭でも作ってみる学生もいたり、タコを生で初めて触ったりして沢山の経験ができました。</p>				

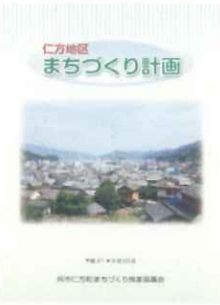
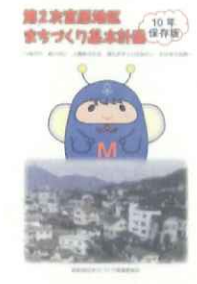
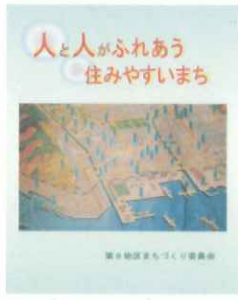
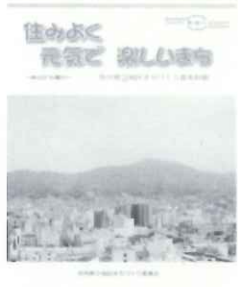
番号	68	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	農業・漁業体験事業			事業費	46,669円
事業の目的	<p>豊島の特産品をPRするとともに、魚をさばくことができない方が増えているため、魚のさばき方教室等を開催し、魚をさばけるようになって、各家庭で新鮮な刺身を食べて家族の絆を深めてもらいます。</p> <p>高齢や体調不良で収穫が困難な方の柑橘畑に外部のボランティアを入れて、収穫してもらいながら地域間交流することが目的です。</p>				
事業概要	<p>漁業体験事業の魚さばき方教室は、豊浜産の鯛・サザエを地元の方の指導でさばいていく事業です。 開催日：令和元年10月5日（土） 参加人数：3名 メニュー：鯛，サザエの刺身</p> <p>農業体験事業の柑橘収穫ボランティアは、放置地のミカンを全部もいでもらうことで、来年もミカンがとれる畑を残すことで産地を守る事業です。 開催日：令和元年11月30日（土） 参加人数：27名</p>				
企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会				
苦労した点	<p>野外活動で天候により中止になることです。 農地の確保・調整が必要です。 畑まで人を運ぶのに時間がかかることです。</p>				
活動状況	<p style="text-align: center;">漁業体験事業</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">柑橘収穫ボランティア事業</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>				
活動の成果	<p>魚のさばき方教室では、地元の方と交流しながら楽しく教えてもらい、きれいに魚がさばけたので家庭でもさばく練習をする方もおり、魚離れに貢献できました。</p> <p>柑橘収穫ボランティアは、景色のきれいな場所での作業で楽しく出来てよかった。また来年も参加したいという方もおり、豊浜町の魅力をPRできました。</p>				

番号	69	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	ふれあい助成事業			事業費	90,436円
事業の目的	<p>地元高齢者が広島国際大学とコミュニケーションを持つことで、自分自身の健康状態を把握し、健康に関する意識を高め、いきいきと暮らしていける生活を送ることを目的とします。</p>				
事業概要	<p>広島国際大学と豊浜町・黒瀬町・安芸太田町による第3回目の合同サロンを黒瀬町で開催し、特産品を持ち寄り、昼食会（松茸など）や安芸太田町で取り組んでいる「カルタ」作りの途中経過発表などを行いました。 日時・場所：令和元年11月9日（土） 黒瀬町 黒瀬町保健福祉センター 豊浜町特産品：みかん、レモン</p> <p>広島国際大学による健康チェック、健康講座、健康体操を行います。また、島での暮らしや生活の知恵についての意見交換を行います。 ビューティフルアイランド祭りの露店で豊浜町の特産品を使った試食・レシピを紹介しました。 参加人数：24名 第7回瀬戸内イキイキプロジェクト 開催日：令和2年1月25日（土） 参加人数：町内各サロン41名、学生23名 健康講座：脱水症予防 第8回瀬戸内イキイキプロジェクト 開催日：令和2年2月11日（火・祝） 参加人数：レモンサロン11名、学生19名 健康講座：脱水症予防</p>				
企画・実施した人	<p>豊浜町まちづくり協議会 豊浜町老人クラブ 広島国際大学</p>				
苦労した点	<p>老人クラブや各サロンに紹介し、参加者を集めることです。 農家などのレモンサロンはミカン収穫時期と重なり、人が集まりにくいことです</p>				
活動状況	<p>3町合同サロン</p>  <p>第6回瀬戸内イキイキプロジェクト</p> 		<p>ビューティフルアイランド祭り</p>  <p>第7回瀬戸内イキイキプロジェクト</p> 		
活動の成果	<p>3町合同サロンでは、各地区の取組の報告を聞き、豊浜町でも何か作りたいと思う意欲が出てきました。 広島国際大学による健康チェック、健康学習などわかりやすく説明してもらい高齢者には楽しく健康について学ぶことができたことに加えて、若い人と交流ができて元気をもらい、とてもよかったとのことでした。</p>				

番号	70	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	本末 満
事業名	第36回 豊町七夕納涼祭			事業費	2,400,000円 (負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「地域まちづくり計画」の振興方針「にぎわいと活力ある「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、ステージイベントや海上花火大会を実施する。				
事業概要	<p>日 時：令和元年8月3日（土） 18時～21時</p> <p>場 所：小長港フェリーターミナル前広場他</p> <p>動員数：約3,500人</p> <p>内 容：ステージイベント スタジオG1（地元子ども達のダンス） D'FACTORY（バンドライブ） 長渕剛そっくりさん“勇次”オンステージ 沖合の台船からの2,000発の海上花火大会</p>				
企画・実施した人	豊町まちづくり協議会，豊町地区社会福祉協議会，豊町七夕納涼祭実行委員会が主催であるが，特に，呉広域商工会青年部安芸灘支部豊地区の会員や呉広域商工会豊支所が主体的に運営している。				
苦労した点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大会は資金面で地元の商工会加盟店や各種団体・個人等の協賛金（令和元年度134万円）に負うところが大きく，こうした集金活動に苦慮している。 2. 準備・開催等の運営面でのマンパワー不足 3. 地区外からの来場者の駐車場確保 				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ステージイベント</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">2,000発の海上花火大会</p>				
活動の成果	豊地区のみならずとびしま海道の納涼祭（花火大会）として広く認知され，とびしま海道を越えて本土からも多数来場，地域の情報発信と地域間交流の一大イベントとして位置づけられている。				

番号	71	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	本末 満
事業名	豊町町民運動会			事業費	100,000円 (負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「地域まちづくり計画」の振興方針「人々のふれあう「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、地区別対抗戦による町民運動会を実施する。				
事業概要	<p>日 時：令和元年6月9日（日）</p> <p>場 所：豊小学校グラウンド</p> <p>内 容：町内6地区が参加し、満水競争、女子玉入競争、タルころがし、ざる引き等12種の競技を行った。</p> <p>参加人員：約600人</p>				
企画・実施した人	豊町地区社会福祉協議会，豊町体育協会，豊市民センターが中心となり，自治会の協力のもと実施した。				
苦勞した点	今年度，地域の過疎化・高齢化の進行から町内全9地区のうち選手選考の困難性から残念ながら3地区が不参加，6地区の参加であった。今後の開催について検討が必要である。				
活動状況	 <p>選手入場行進</p>		 <p>選手宣誓</p>		
	 <p>満水競争</p>		 <p>女子玉入競争</p>		
	 <p>タルころがし</p>		 <p>ざる引き</p>		
活動の成果	運動会実施後，毎年各地区に分かれて反省会を開催。和気あいあいとした地域コミュニティの醸成に欠かすことの出来ない豊地区伝統の行事である。				

(参考) 地域まちづくり計画



地域の共有する夢（地域の将来像，地域課題の克服等）の実現に向け，おおむね5～10年間で取り組むべき地域の構想で，地域住民の総意に基づいて住民自身（まちづくり委員会）が策定したものです。
この計画に基づき，地域自らが主体となったまちづくりが進められています。



ゆめづくり事例集2019

発行：令和2(2020)年2月
編集：呉市市民部地域協働課
各市民センター

